

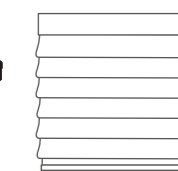
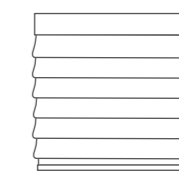
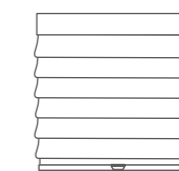
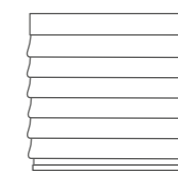
NORMAN®
SHUTTERS. BLINDS. SHADES.



SmartFold Shades

NORMAN®フルイールスクリーン 仕様書

操作メカ：チェーンタイプ
コードレスタイプ
電動タイプ
e-スティック



※ 生地詳細一覧と部品配色表は別紙参照

チェーンタイプ

コードレスタイプ

電動タイプ

e-スティック

ノーマンジャパン株式会社

〒151 - 0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-23-15 A-PLACE 代々木 3階

TEL : 03-3356-8688 HP : www.norman.co.jp

※ 各仕様は品質改良に伴い、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

チェーンタイプ & コードレスタイプ

1. 仕様と構造	01
1-1. チェーンタイプ	01
1-2. コードレスタイプ	02
1-3. 製作可能寸法	03
1-4. 操作部配置と巻き取り方向	03
1-5. 操作部の長さ	03
1-6. ブラケット(全操作メカ共通)	04
1-7. 付属部品の数量	04
1-8. 製品重量の目安	05
1-9. 製品巻き代の目安	05
1-10. 構造上生じる生地の間隙	05
2. オプション	06
2-1. J型バランス	06
2-2. 遮光オプション	10
2-3. 標準仕様・コードレスタイプ専用	10
3. 取り付けタイプ	11
4. 取り付け条件	11
4-1. 窓枠天井付け/鴨居付け	11
4-2. 窓枠正面付け	12
4-3. 壁面付け	13
4-4. カーテンボックス付け	14
5. 必要寸法一覧	15
6. 採寸方法	16
6-1. 窓枠天井付け/鴨居付け	16
6-2. 窓枠正面付け	16
6-3. 壁面付け	17
6-4. カーテンボックス付け	18
7. 取り付け方法	18
7-1. 製品の確認	18
7-2. ブラケットの取り付け	19
7-3. 遮光ボードの取り付け・取り外し	20
7-4. スクリーン本体の取り付け・取り外し	21
7-5. 遮光サイドフレームの取り付け	22
7-6. バランスの取り付け・取り外し	23
7-7. その他取り付け・取り外し	24
8. 操作方法	25
8-1. チェーンタイプ	25
8-2. コードレスタイプ	25

電動タイプ

1. 仕様と構造	28
1-1. スクリーン本体ACアダプタ式	28
1-2. スクリーン本体e-スティック	31
1-3. 製品重量の目安	33
1-3. 製品巻き代の目安	33
1-4. 構造上生じる生地の間隙	33
2. オプション	33
2-1. J型バランス	33
2-2. 遮光オプション	35
3. 取り付けタイプ	36
4. 取り付け条件	36
4-1. 窓枠天井付け/鴨居付け	36
4-2. 窓枠正面付け	37
4-3. 壁面付け	38
4-4. カーテンボックス付け	39
5. 必要寸法一覧	40
6. 採寸方法	41
6-1. 窓枠天井付け/鴨居付け	41
6-2. 窓枠正面付け	41
6-3. 壁面付け	42
6-4. カーテンボックス付け	43
7. 取り付け方法	43
7-1. 製品の確認	43
7-2. ブラケットの取り付け	44
7-3. 遮光ボードの取付・取り外し	45
7-4. スクリーン本体の取り付け・取り外し	46
7-5. スクリーン本体ACアダプタ式のみ	47
7-6. スクリーン本体e-スティックのみ	47
7-7. 遮光サイドフレームの取り付け	48
7-8. バランスの取り付け・取り外し	49
8. 操作方法	50
8-1. リモコン(RC-A01)ボタンの紹介	50
8-2. SmartDial™ G2ボタン紹介	50
8-3. e-スティックボタン紹介	50
8-4. ボタン機能紹介	51
8-5. 手動スイッチ機能説明	52
8-6. リモコンホルダー	52
8-7. SmartDial™ G2の壁面設置	53
9. サイズ定義と公差	56
10. 製品特性	56
11. 保証について	57

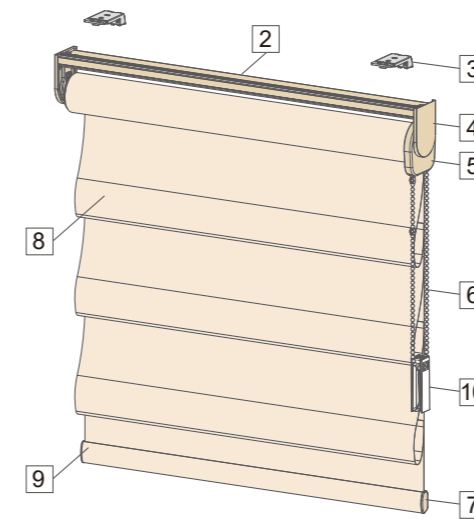
1-1 チェーンタイプ



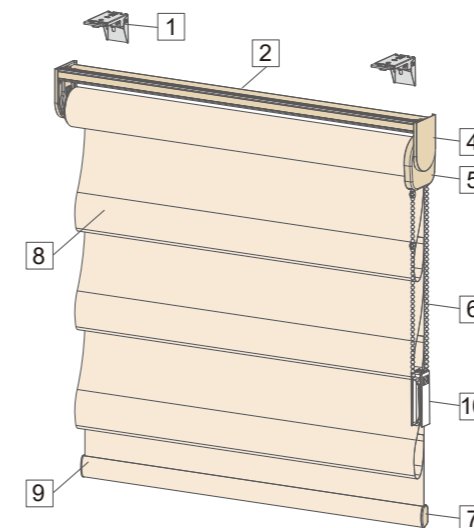
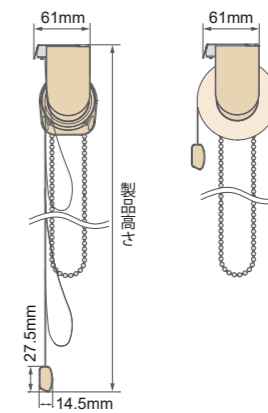
Fluille Shades
フルイールスクリーン

チェーンタイプ
コードレスタイプ

※ 生地詳細一覧と部品配色表は別紙参照

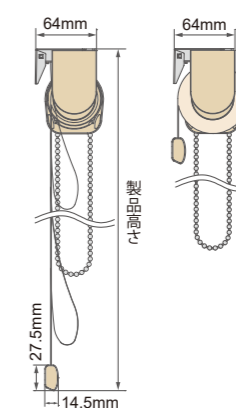


【内付けの場合】



【外付けの場合】

3.5"外付用ブラケット



※ ブラケット詳細はP4をご覧ください。

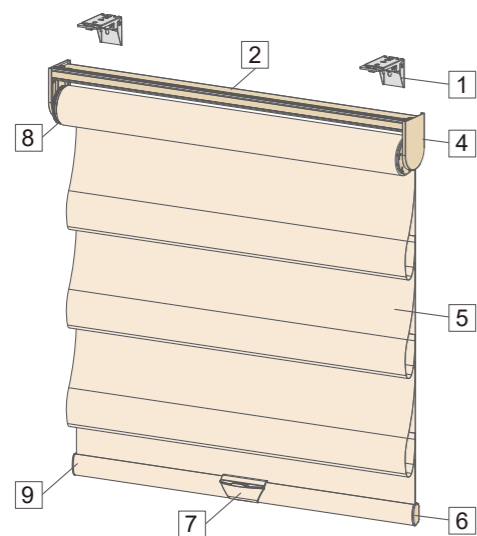
■ 構造部品名

部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル	-
(2) ヘッドレール	アルミニウム	3色
(3) 内付けブラケット	メタル	-
(4) サイドキャップ※1	樹脂成型品	3色
(5) 操作部	メタル及び樹脂成型品	3色
(6) ボールチェーン	ステンレス	-
(7) ボトムキャップ	樹脂成型品	生地色に合わせて配色
(8) スクリーン	生地により異なります	生地詳細一覧と部品配色表を参照
(9) ボトムレール	アルミニウム	袋縫い仕上げ※2
(10) チェーンクリップ	樹脂成型品	透明

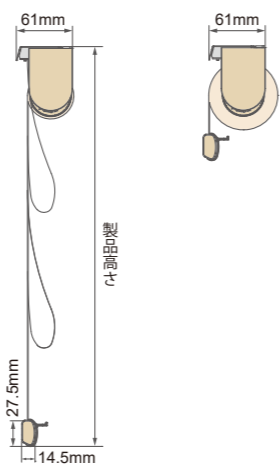
※1 バランスオプションを選択された場合、サイドキャップは付属しません

※2 袋縫い仕上げの場合、製品本体と同じ生地でスクリーンごとに室内側のレールのみ覆って製作します

1-2 コードレスタイプ

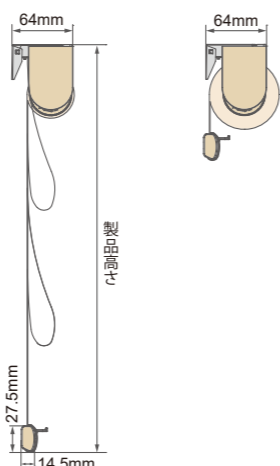
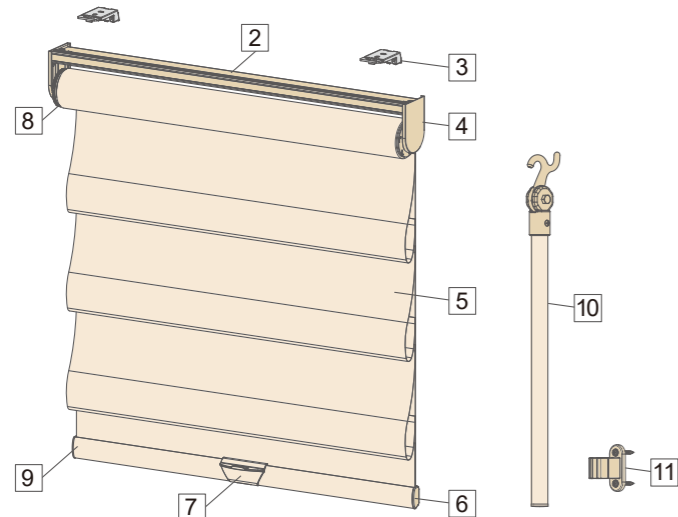


【内付けの場合】



【外付けの場合】

3.5"外付用ブラケット



■ 構造部品名

部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル	-
(2) ヘッドレール	アルミニウム	3色
(3) 内付けブラケット	メタル	-
(4) サイドキャップ※1	樹脂成型品	3色
(5) スクリーン	生地により異なります	生地詳細一覧と部品配色表を参照
(6) ボトムキャップ	樹脂成型品	生地色に合わせて配色
(7) グリップ	樹脂成型品	透明
(8) 調整ダイヤル	メタル及び樹脂成型品	-
(9) ボトムレール	アルミニウム	袋縫い仕上げ※2
(10) 操作ロッド(オプション)	-	ノーマル&ロング
(11) 保管用壁付けホルダー(操作ロッドと同梱)	樹脂成型品	-

※1 バランスオプションを選択された場合、サイドキャップは付属しません

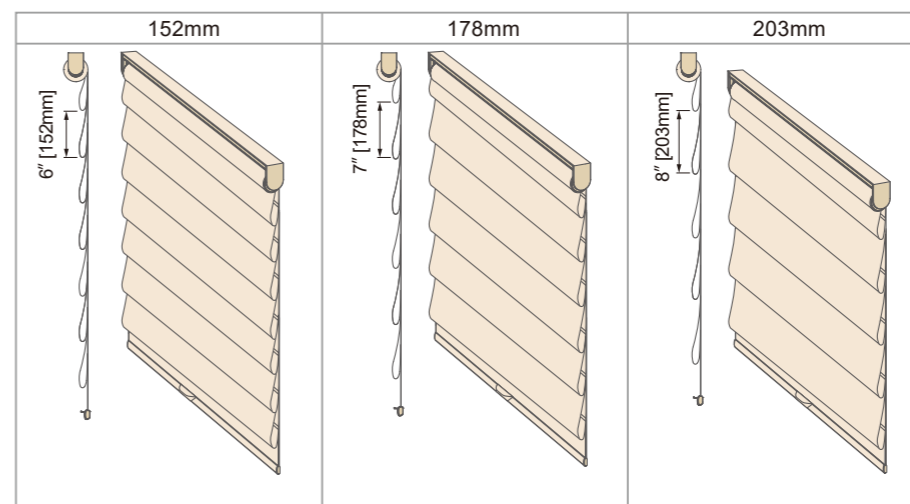
※2 袋縫い仕上げの場合、製品本体と同じ生地でスクリーンごとに室内側のレールのみ覆って製作します

1-3 製作可能寸法

操作メカ	幅(mm)	高さ(mm)	最大面積 (m ²) ※ 機構部を含む製品室内側総面積	幅：高さの比率
チェーンタイプ	220~2400	600~2400	5.76	1 : 4
コードレスタイプ	490~2400			

※コードレスタイプは、製作可能サイズが幅613mm以下の場合、高さ1829mm以下となりますのでご注意ください。

1-3-1 製作可能折幅



※ご注文高さに対する折幅の枚数計算方法：(仕上がり高さ÷折幅寸法)÷折幅寸法 公差：±1折幅

※スクリーン一番下の生地の折幅は半分の折幅寸法となります。

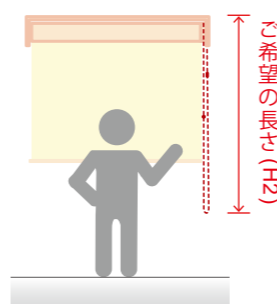
1-4 操作部配置

操作メカ	操作部	配置	
		標準	オプション
チェーンタイプ	操作メカ	右	左
コードレスタイプ	調整ダイヤ	左	-

1-5 操作部の長さ

1-5-1 チェーンタイプ

吹き抜け窓や高所の窓等



操作メカ	製品高さ(H)	操作チェーンの長さ(標準仕様)
チェーンタイプ	600~2400mm	2/3 H + 152mm

設置箇所が高所の場合など、ご希望があれば長さをご指定ください (H2)。操作チェーンの長さは標準の長さが目安の長さとなります。また10ミリ単位で指定することもできます。チェーンが短すぎると操作に支障をきたす場合がございます。ご注意ください。(H2) = ヘッドレール上端からチェーン下端まで
最小寸法：2/3H+152mm / 公差：0mm~+30mm

1-5-2 コードレスタイプ



操作メカ	操作ロッドの長さ(オプション)
コードレスタイプ	ノーマル&ロング

1-6 ブラケット(全操作メカ共通)

取り付けタイプ	名称	図面
窓枠天井付け 鴨居付け カーテンボックス付け	内付け用ブラケット	
窓枠正面付け 壁面付け	3.5" 外付け用ブラケット	

1-7 付属部品の数量



【窓枠天井付け、鴨居付け、カーテンボックス付けの場合】

製品幅 (mm)	内付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※1	チェーンクリップ※2	グリップ※3
~1016	2	4		
1017~2032	3	6	1	1
2033~	4	8		

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。通常は19mmのネジが付属しますが鴨居付けの場合は31mmのネジが付属します。
 ※2 チェーンタイプの場合、チェーンクリップが付属します。
 ※3 コードレスタイプの場合、グリップが付属します。

【窓枠正面付け、壁面付けの場合】

製品幅 (mm)	3.5"外付け用 ブラケット	ブラケット 取り付けネジ※1	41x10mmブラケット スペーサー※2	チェーン クリップ※3	グリップ※4
~1016	2	4	2		
1017~2032	3	6	3	1	1
2033~	4	8	4		

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。通常は19mmのネジが付属します。
 壁面付けでブラケットスペーサー1連使用の場合は38mm、2連は51mm、3連は63.5mmのネジが付属します。
 ※2 上記ブラケットスペーサーの数量は1連の場合で、2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。
 ご指定がない場合(標準)、ブラケットスペーサーは付属しません。スペーサーが必要なときは漏れがないよう、注文内容に十分ご注意ください。
 ※3 チェーンタイプの場合、チェーンクリップが付属します。
 ※4 コードレスタイプの場合、グリップが付属します。

1-8 製品重量の目安

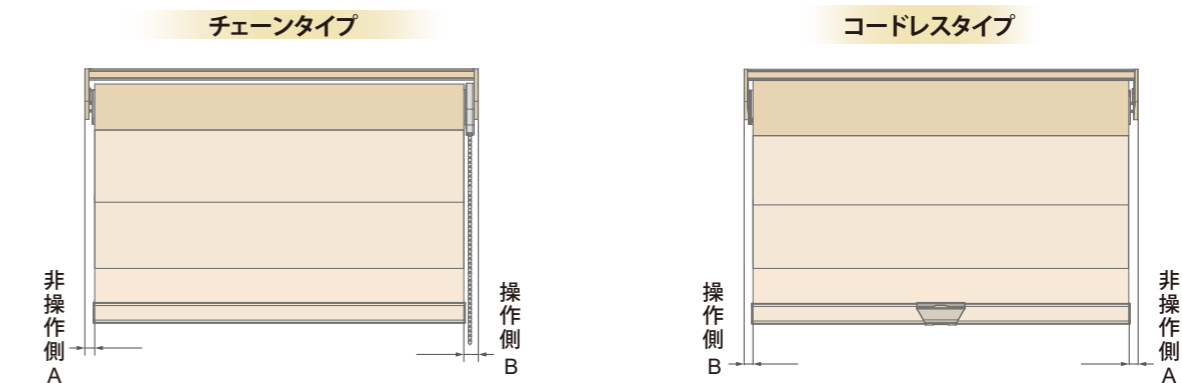
操作メカ	製品幅(mm)	重量計算式(kg)	差異値
チェーンタイプ	~1981	製品重量=製品幅(m)*製品高さ(m)*生地重量目安(kg/m ²)+製品幅(m)*0.9+0.3	±0.5kg
	1982~2400	製品重量=製品幅(m)*製品高さ(m)*生地重量目安(kg/m ²)+製品幅(m)*1.1+0.3	
コードレスタイプ	~1981	製品重量=製品幅(m)*製品高さ(m)*生地重量目安(kg/m ²)+製品幅(m)*0.9+0.39	
	1982~2400	製品重量=製品幅(m)*製品高さ(m)*生地重量目安(kg/m ²)+製品幅(m)*1.1+0.39	

※ 上記計算式はJ型バランスなしの場合です。J型バランスを選択された場合の製品総重量をお求めの場合は、J型バランスの重量を加えてください。
 89mmJ型バランスの重量+252g/m
 ※ 生地重量目安は別紙「生地詳細一覧と部品配色表」をご参照ください。
 ※ 生地ロットや部品によっては誤差が生じます。上表の重量計算式はあくまで目安であり、算出された重量を保証するものではありません。
 あらかじめご了承ください。

1-9 製品巻き代の目安

巻き代は最大133mm。
 ※ 数値はあくまで目安であり保証するものではありません。生地ロットや製品高さ、生地厚さなどによって誤差がございます。あらかじめご了承ください。

1-10 構造上生じる生地の隙間



操作メカ	非操作側隙間(A)mm	操作側隙間(B)mm
チェーンタイプ	14	19.5
コードレスタイプ	14	14

※ 操作側定義：・チェーンタイプ ⇒ チェーンがある側
 ※ 窓枠内に設置するタイプの場合、製造規定により上表よりも隙間が少し大きくなる場合があります。
 ※ 上記の数値は、J型バランスがない場合の参考値です。目安としてご利用ください。

2-1 J型バランス

2-1-1 J型バランスの設置イメージ

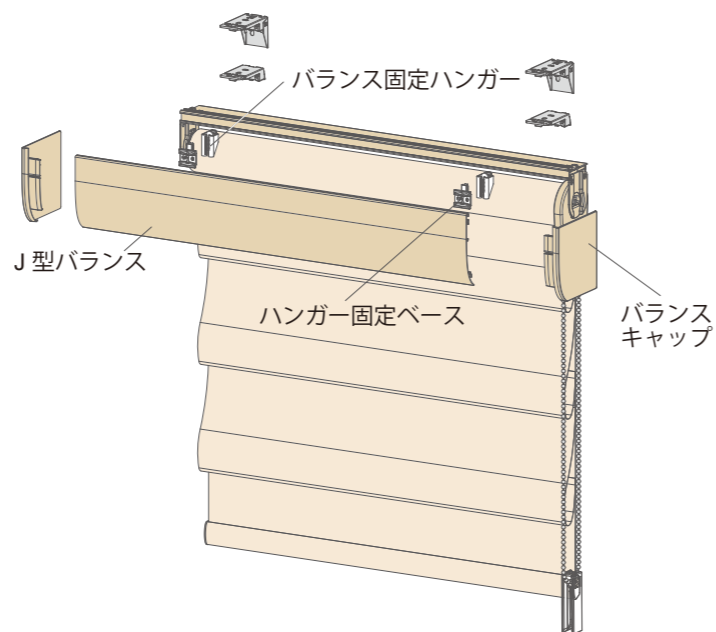


仕様	色 ※	
89mm J型バランス	生地色と同色	

※ J型バランスの色はご指定いただけません。製品本体と同じ生地での製作となります。

2-1-2 スクリーン本体とJ型バランス設置関係図

右図はチェーンタイプ、窓枠正面付け・壁面付けのイメージ図となります。



2-1-3 J型バランス寸法

■ バランス寸法

バランスタイプ	バランスキャップ ※		バランス固定ハンガー	ハンガー固定ベース
	窓枠天井付け・鴨居付け	窓枠正面付け・壁面付け・カーテンボックス付け		
89mm J型バランス				

■ バランスの設置部品標準付属個数

製品幅(mm)	~838	839~1372	1373~1905	1906~2400
高さ調節ハンガー	2	3	4	5
ハンガー固定ベース				

2-1-4 バランス標準照合表

■ コードレス / チェーンタイプ

仕様	取り付けタイプ	バランスタイプ	バランスキャップ奥行※1	バランス幅 (キャップ含め)	取り付けイメージ図
コードレスタイプ	窓枠天井付け 鴨居付け	89mm	68mm	製品幅	
	窓枠正面付け 壁面付け		91mm		
	カーテンボックス付け	91mm			
チェーンタイプ	窓枠天井付け 鴨居付け	89mm	68mm		
	窓枠正面付け 壁面付け		91mm		
	カーテンボックス付け	91mm			

※1 全操作メカ共通。J型バランスの幅&バランスキャップの寸法指定はできません。

2-1-5 取り付けタイプ別収まり図

【窓枠天井付け・鴨居付け】 ※枠内実寸の場合は、仕上がり幅はオーダー幅-3mmとなります。

■ チェーンタイプ

標準仕様	バランス無	内付け用ブラケット 59mm 29mm 16mm	
J型 バランス仕様	バランス有	バランスキャップ 68mm 92mm	

■ コードレスタイプ

標準仕様	バランス無	内付け用ブラケット 59mm 29mm 16mm	
J型 バランス仕様	バランス有	バランスキャップ 68mm 92mm	

【窓枠正面付け・壁面付け】

■ チェーンタイプ

標準仕様	バランス無	3.5" 外付け用 ブラケット 63mm 31mm 37mm	
J型 バランス仕様	バランス有	バランスキャップ 91mm 92mm	

【窓枠正面付け・壁面付け】

■ コードレスタイプ

標準仕様	バランス無	3.5" 外付け用 ブラケット 63mm 31mm 37mm	
J型 バランス仕様	バランス有	バランスキャップ 91mm 92mm	

【カーテンボックス付け】

■ チェーンタイプ

標準仕様	バランス無	内付け用ブラケット 59mm 29mm 16mm	
J型 バランス仕様	バランス有	バランスキャップ 91mm 92mm	

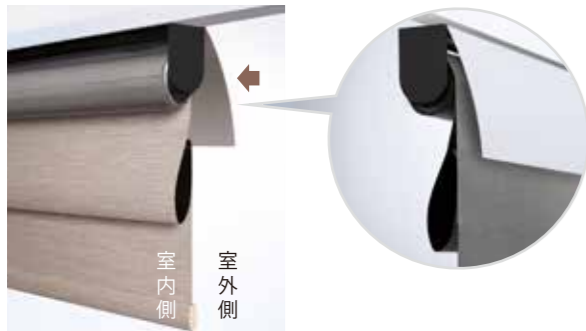
■ コードレスタイプ

標準仕様	バランス無	内付け用ブラケット 59mm 29mm 16mm	
J型 バランス仕様	バランス有	バランスキャップ 91mm 92mm	

2-2 遮光オプション

2-2-1 遮光ボード

遮光ボードは巻き取り部に生じる隙間をカバーします。光漏れを最小限におさえ、窓枠天井付け製品の遮光性を高めます。



2-2-2 遮光サイドフレーム

生地と窓枠の隙間を覆うことで遮光性が向上する遮光サイドフレームは、窓枠内付けて効果を発揮します。3色からお選びいただけます。



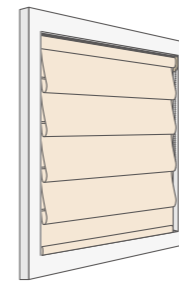
名称	色	図面	材質	適用取り付けタイプ
遮光ボード	F1936 ライトコア		樹脂成型品	窓枠天井付け 鴨居付け
遮光サイドフレーム	ホワイト アイボリー ブラック		アルミニウム	窓枠天井付け 鴨居付け

※ 遮光サイドフレームの高さは、窓下枠内側からスクリーン操作部（ドラム）またはスクリーンが巻き上がりきった位置の下5mmまで。
 ※ 遮光サイドフレームと遮光ボードは同一オプションです。どちらか一方のみをご購入いただくことはできません。

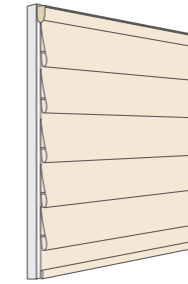
2-3 標準仕様-コードレスタイプ専用 ※ 長さはノーマル&ロングです。



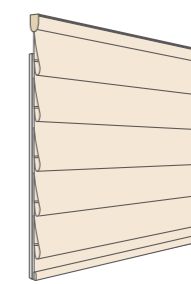
窓枠天井付け/鴨居付け
(窓枠の内側に取り付ける場合)



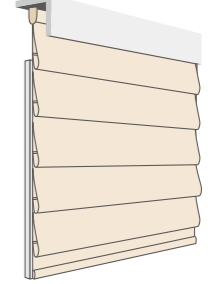
窓枠正面付け
(窓枠の正面に取り付ける場合)



壁面付け
(窓枠の上の壁面に取り付ける場合)



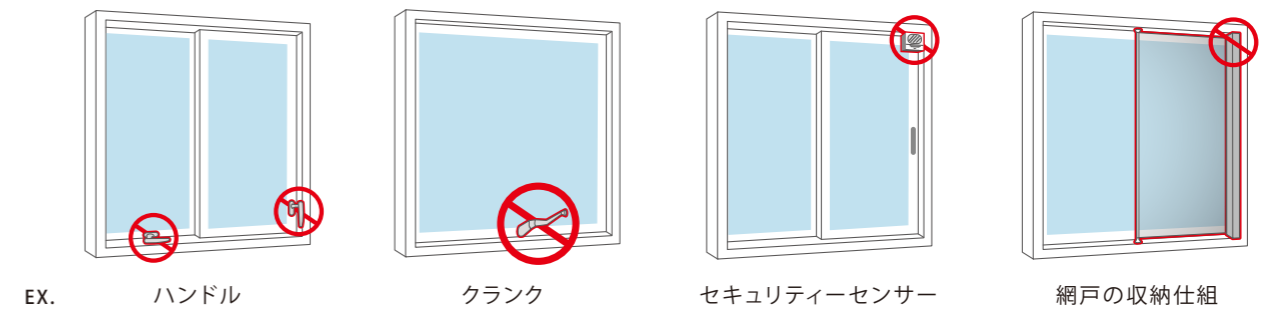
カーテンボックス付け
(カーテンボックスの中に取り付ける場合)



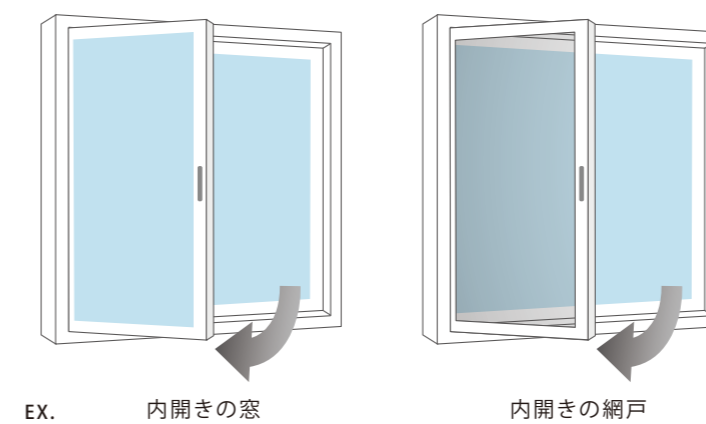
04 取り付け条件

4-1 窓枠天井付け/鴨居付け

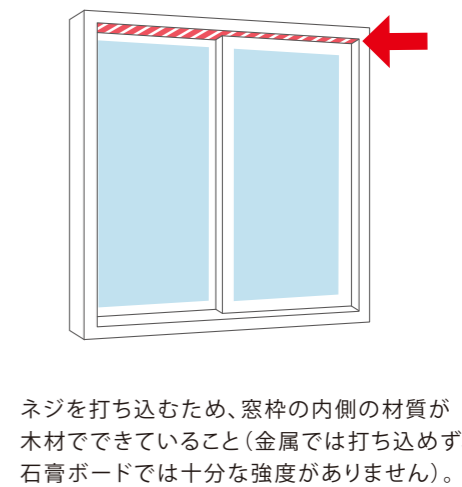
条件1 障害物など干渉するものがないこと



条件2 内開き窓・網戸は避けてください



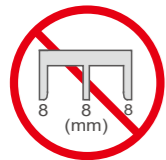
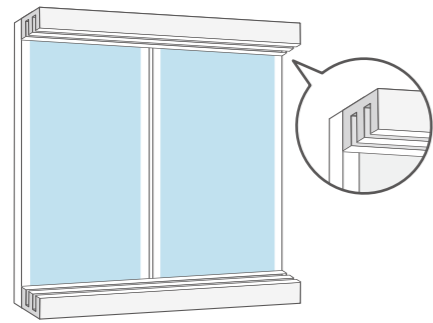
条件3 下地が木材であること



条件1、2に示した例は参考です。上例に限らず、取り付けや製品動作へ干渉する物等には十分ご注意ください。

仕様と構造
オプション
取り付けタイプ
取り付け条件
必要寸法一覧
採寸方法
取り付け方法
操作方法

仕様と構造
オプション
取り付けタイプ
取り付け条件
必要寸法一覧
採寸方法
取り付け方法
操作方法



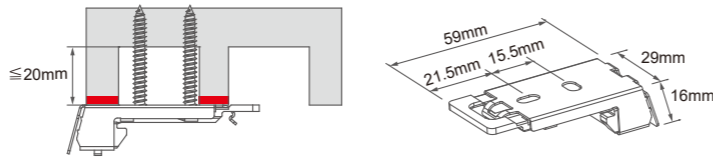
薄型鴨居の場合、左図の木の幅が8mm以下の箇所への取り付けはおすすめできません。

【鴨居付け】

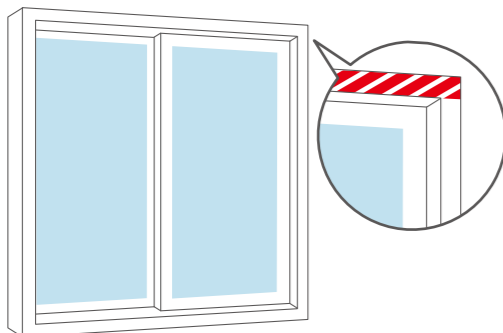
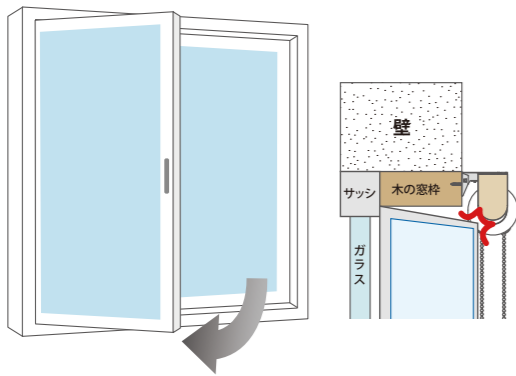
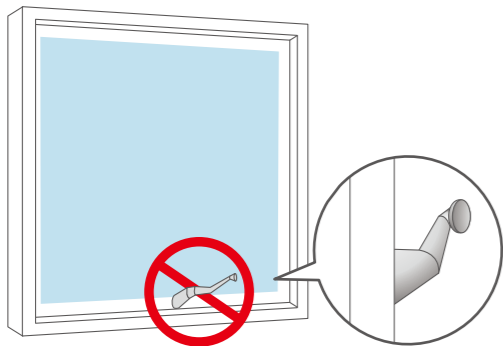
和室によく見られる障子枠の鴨居への取り付けは可能でしょうか？

- 原則として、取り付けに問題ございません。鴨居の寸法を確認し、スクリーンのブラケットが2点の平面に支えられることをご確認ください。なお、ヘッドレールの前側と鴨居の前側が揃わないことがあります。あらかじめご了承ください。
- 下地の厚みが薄いと、ネジが鴨居を貫通する可能性があります。
- 障子枠の溝部は21~31mmにする必要があります。

取り付けの側面図（おすすめの取り付け方法）



4-2 窓枠正面付け



条件 1 障害物など干渉するものがないこと

外に突出した取っ手などがある場合は、スクリーンの昇降を妨げます。取っ手が窓枠から突出するかどうかをご確認ください。

条件 2 内開き窓・網戸は避けてください

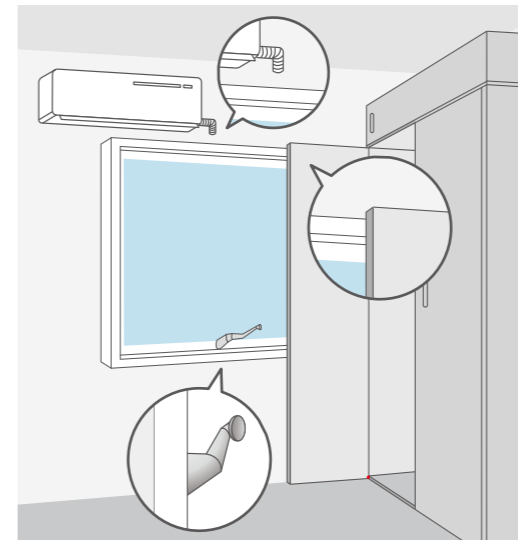
内側に開く窓や網戸がある場合は、図のようにスクリーンを収めると、扉の開閉時の障害になります。（設置位置や畳代をご確認ください）

条件 3 下地が木材であること

ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が木材でできていること（金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません）。

4-3 壁面付け

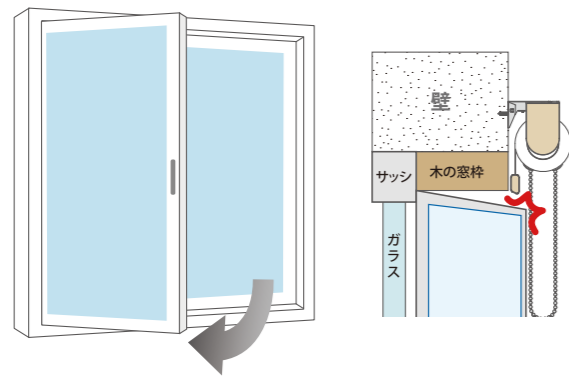
条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと



- 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと。
- 2 窓枠よりはみ出した箇所に突出するものがないこと。突出するものがあるとスクリーンの昇降操作に支障をきたすことがあります。
- 3 フルイールスクリーンの製品特徴で、ブラケットスペーサーを利用しない場合、下表のようにスクリーンを降ろした状態と巻き上げた状態ではスクリーンと壁面の距離が変わります。昇降操作上に窓枠または障害物に干渉することにご注意ください。

3.5" 外付け用ブラケット	
巻きあがった図面	降ろした図面
説明	生地と取り付け面が最も離れるのはスクリーンを降ろしきった状態のときです。窓枠や障害物の突出しが0mmを超えると、昇降動作に干渉することがございます。

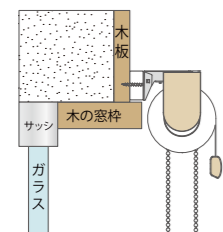
条件2 内開き窓・内開き網戸の場合、昇降時の干渉を確認済みであること



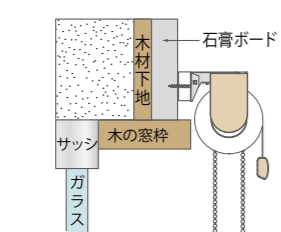
■ 内開き仕様の窓・網戸がある場合、窓・網戸の開閉に支障がでないよう、量代計算・採寸・取り付けなど十分ご注意ください。

条件3 取り付け箇所の下地が木材であること

■ 下地素材が下図の場合は、商品同梱のネジで取り付けが可能です。

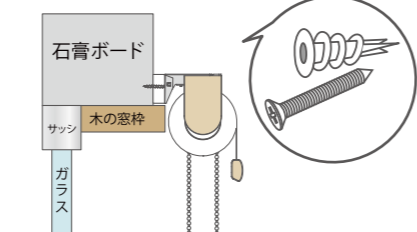


木材、ベニヤである場合

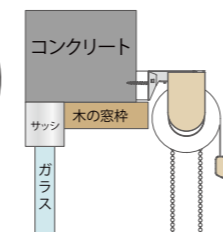


石膏ボードの下に木材の下地がある場合
→ネジが下地まで届かない場合がありますので、下地までの距離をご確認ください。

■ 下地素材が下図の場合は、弊社ネジでの取り付けができません。専門業者による取り付けをおすすめいたします。



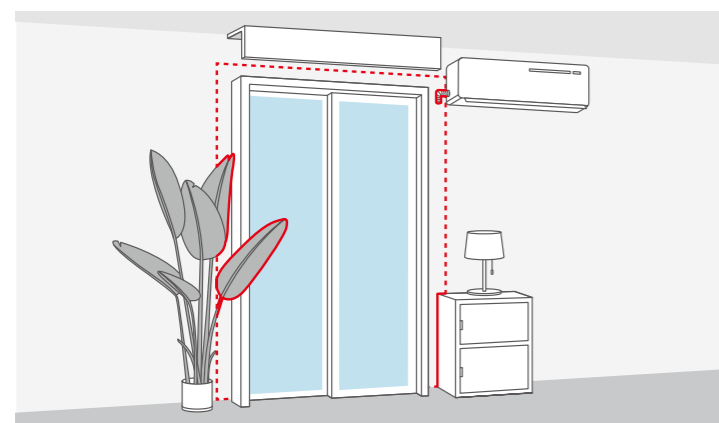
木材の下地がなく、石膏ボードのみの場合(※)
→石膏ボード専用アンカーなどをご利用いただく必要があります。
※非推奨



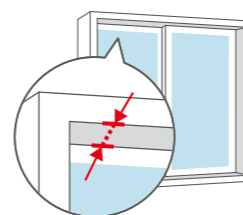
木材の下地がなく、コンクリートのみの場合
→コンクリート専用ネジのご利用と、施工方法をご確認ください。専門業者による取り付けをおすすめいたします。

4-4 カーテンボックス付け

■ 窓枠周辺に、家具やタンス、エアコンなど障害物がないことをご確認ください。

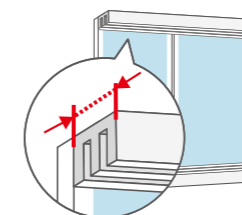


窓枠天井付け

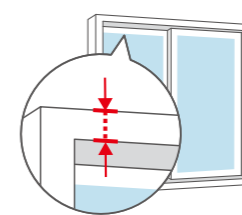


奥行が足りない場合はブラケットの取り付けができません。
必要な奥行を下記の表にてご確認ください。

鴨居付け

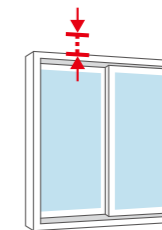


窓枠正面付け

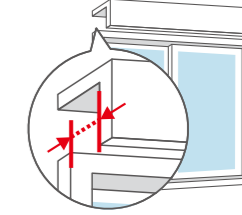


窓枠の高さが足りない場合は、ブラケットの設置ができません。

壁面付け

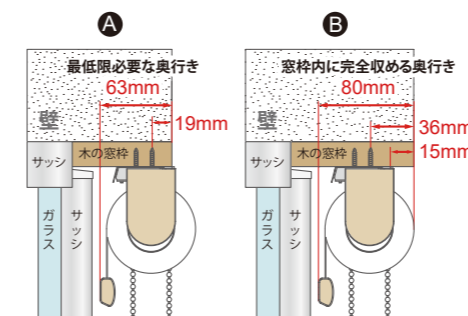


カーテンボックス付け

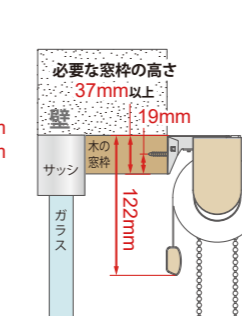


窓枠からカーテンボックスまでの必要寸法。

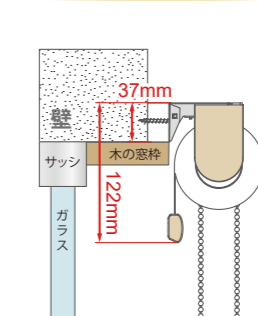
窓枠天井付け / 鴨居付け



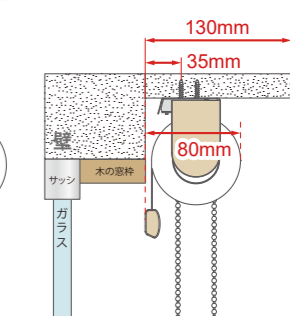
窓枠正面付け



壁面付け



カーテンボックス付け

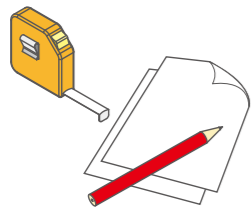


重要

- Ⓐ 窓枠天井付けの場合、窓枠前面からネジ穴まで19mm以上の間隔が必要です。必要な奥行きは63mmですが、スクリーンが窓枠から突出することがございます。
- Ⓑ 製品全てを窓枠内に収めるには必要寸法奥行80mm以上、ヘッドレール前面を窓枠前面から15mm奥に設置すること。その他条件については下表をご確認ください。

取り付けタイプ	取り付け金具設置面条件	バランスなし	バランスあり
			89mm仕様
窓枠天井付け 鴨居付け	Ⓐ 最低限必要な奥行き	63mm	63mm
	Ⓑ 窓枠内に完全に収める場合	80mm※1	91mm※2
窓枠正面付け	最低限必要な高さ	37mm	92mm※3
壁面付け	天井から窓枠までの寸法(取り付け予定箇所の寸法)	37mm	92mm※3
カーテンボックス付け	カーテンボックスの奥行	130mm	138mm

※1 ヘッドレール前面を窓枠前面から15mm奥に設置します。
 ※2 ヘッドレール前面を窓枠前面から28mm奥に設置します。
 ※3 バランスを窓枠上に収める場合92mm。



【採寸の準備】

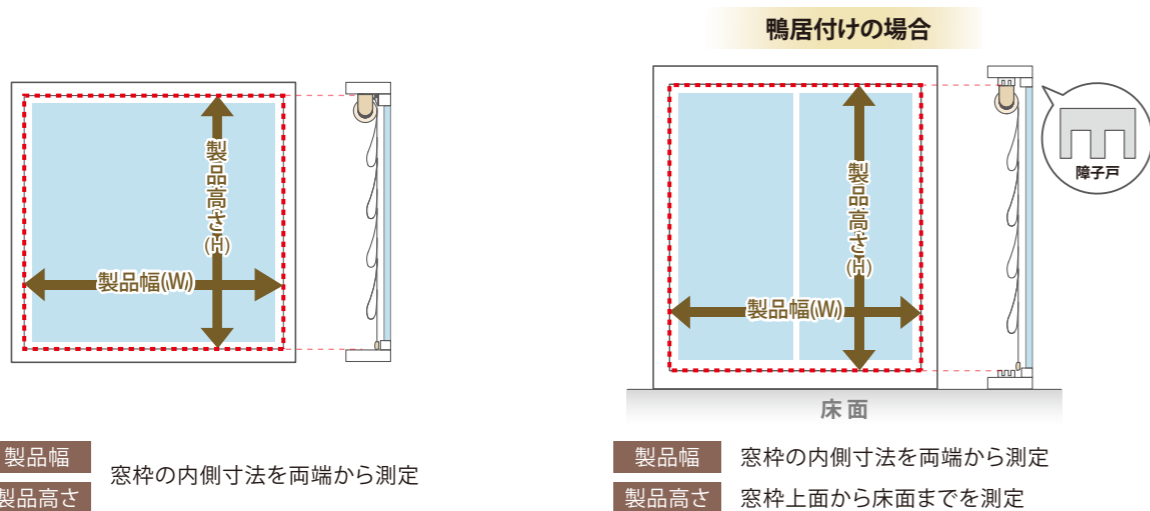
サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。

※ 新築等の図面上サイズでご注文いただきますと、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文ください。

【採寸時のご注意】

窓は見た目と同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

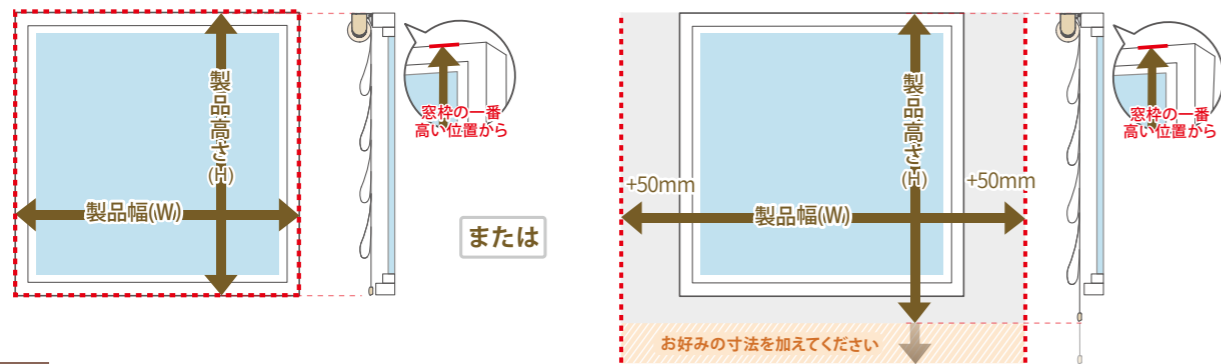
6-1 窓枠天井付け / 鴨居付け



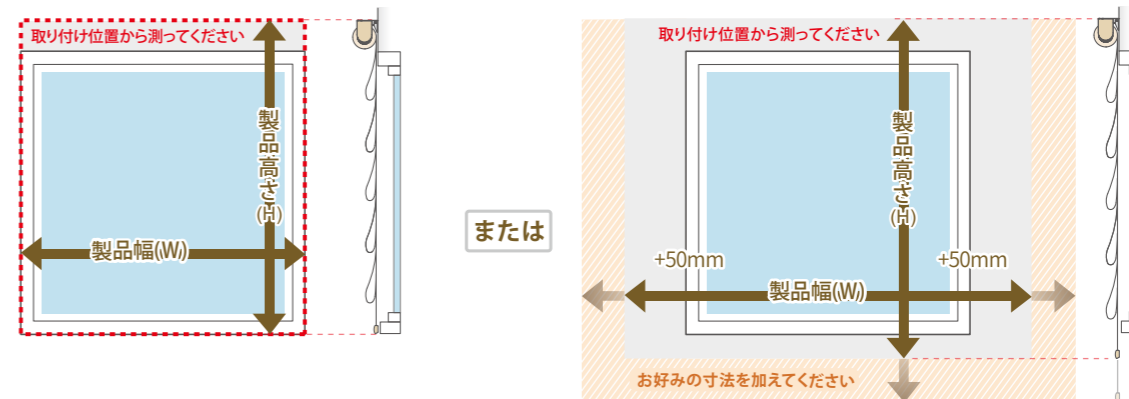
ご注意ください

- 窓枠の歪みにより、製品が設置できない場合があります。
幅・高さともに3か所以上(上中下、左右中など)を採寸し、それぞれ最小の寸法にてご注文ください。
- 「枠内実寸」で発注する場合、採寸は、幅、高さとも窓枠の内側寸法を何も引かず、正確に測ってください。
窓枠内に収まるよう製品に合わせ、工場にて1台あたり幅3mmを引いて製作します。(幅のみ)
取り付け後の窓枠とスクリーンの隙間は操作メカにより異なります。P.5 1-11 構造上生じる生地の間隙 表記寸法を参照してください。
- 窓枠天井付けの場合、メカの構造によって光漏れが生じる箇所がございます。ご入用の際は有料オプション「遮光ボード」& 「遮光サイドフレーム」をご活用ください。隙間からの光漏れを最大限低減します。製品を天井に設置し間仕切りとして使用する場合、天井の強度が足りず設置できない場合があります。必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。

6-2 窓枠正面付け



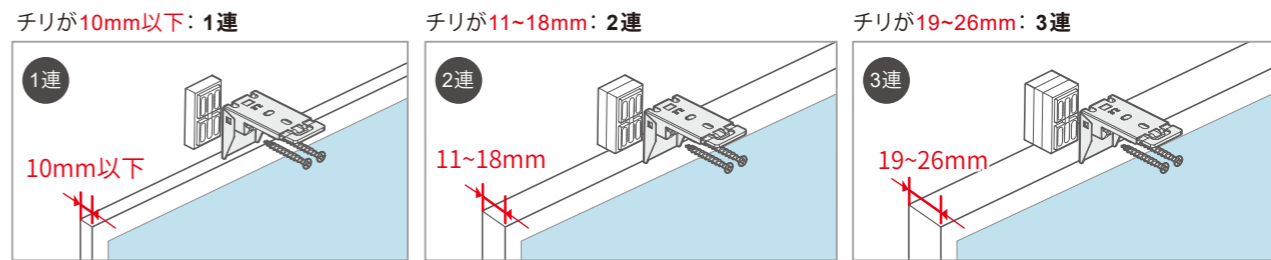
6-3 壁面付け



- 製品幅 窓枠の外側寸法を両端から測定
 - 窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各30~50mmほど余裕をもたせることがおすすめです。ただし、周りに障害物がないか必ず確認してください。
- 製品高さ 窓枠の外側寸法を両端から測定
 - 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

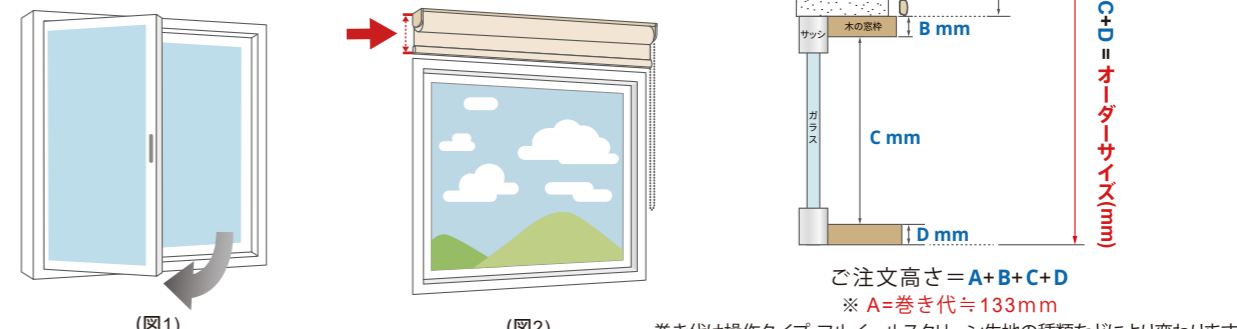
【窓枠のチリを逃がして取り付ける場合-ブラケットスペーサーの使用】

壁と窓枠にチリ(段差)がある場合、ブラケットスペーサーを使用することでスクリーンの取り付けが可能です。チリの寸法に応じて、ブラケットスペーサーの個数を最大3つまで選択できます。それ以上の数が必要な場合は、壁面以外の取り付け方法をお選びください。



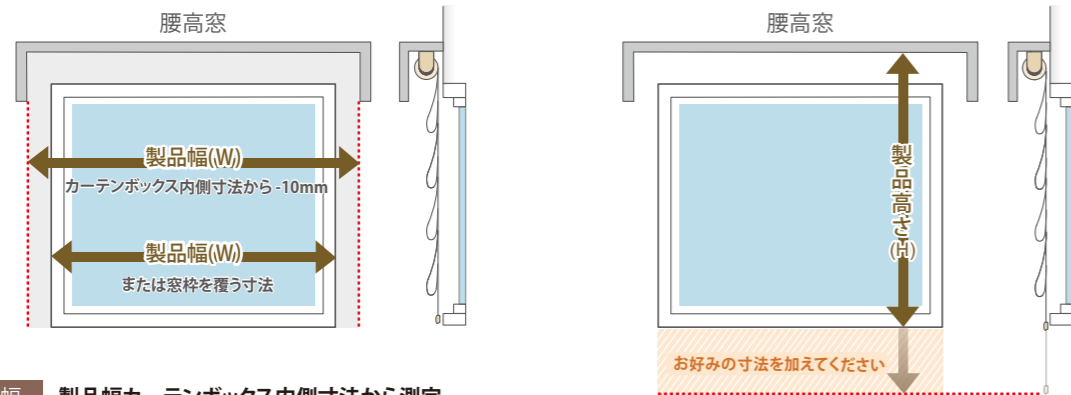
■ 内開きの窓・網戸がある場合や、窓枠上に製品を収めたい場合のご注文サイズについて

内開きの窓や網戸がある場合(図1)や、窓枠上に製品を収めたい場合(図2)は、採寸と取り付けの際、畳代とスクリーンを設置する高さにご注意ください。採寸の際に、下記の計算が必要となります。
※スクリーンを上げきった位置が窓枠の上に収まる想定です



- ① 下地を確認する
- ② オーダーサイズを算出
- ③ 製品畳代算出し、取り付け位置を決める

6-4 カーテンボックス付け



製品幅 製品幅カーテンボックス内側寸法から測定

・カーテンボックス内側寸法から10mm程度を引いてください。または、窓枠を覆う寸法を測ってください。

製品高さ 取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定

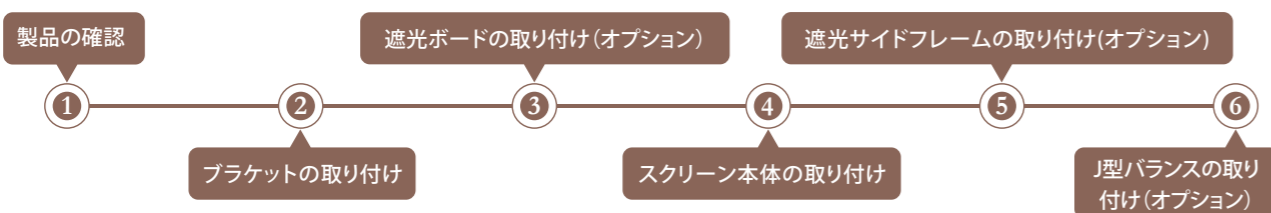
・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

07 取り付け方法

ご注意ください ① ブラケット取り付け時は必ず以下項目を確認したうえで本体の設置を行ってください。

ブラケット取り付け後確認項目	正しい	間違い
すべてのブラケットが一直線に設置されていること	俯瞰図 	俯瞰図
	正面図 	正面図
ビスがブラケットに対して垂直に取り付けられていること	側面図 	側面図

■ 取り付けの手順 ※ オプション選択のない場合、次のステップにお進みください。



7-1 製品の確認

- 内容物にキズがつかないように開梱し、下記部品が揃っていることをご確認ください。
 - ・スクリーン本体 ・付属品ボックス ・取り扱い説明書 ・保証書
 - ・オプションアイテム(※) ・オプション付属品(※) ※オプションを選択した場合のみ
- 取り扱い説明書に従い、付属品ボックス内のパーツ数量を確認します。

⚠ 注意 取り付けが完了するまでチェーン操作はしないでください。故障の原因になります。

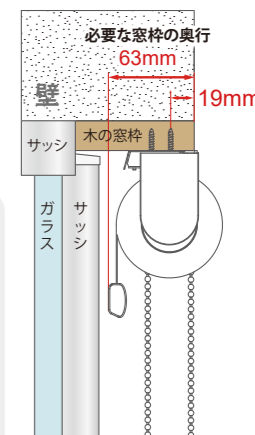
7-2 ブラケットの取り付け

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ブラケットをヘッドレールの両端部から約51~100mm内側に両面テープで仮止めしてください。各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間とのブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

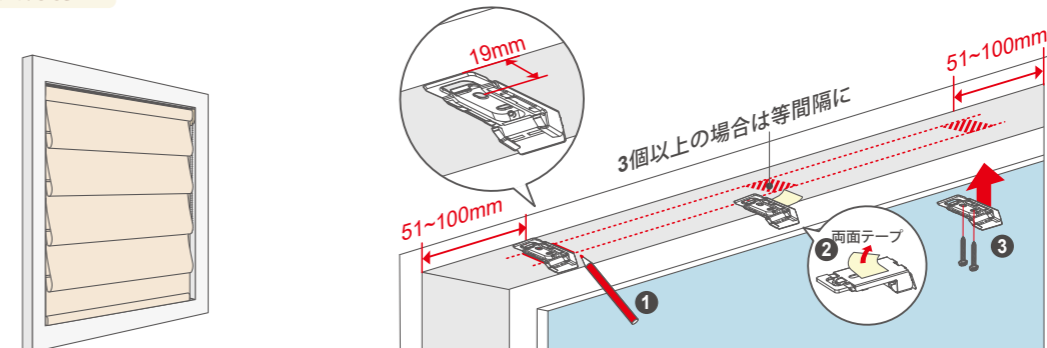
ご注意ください ②

- ① 窓枠内の収まりについては仕様書のP15の必要寸法と規定ヘッドレール位置をご確認ください。
- ② 設置場所が最低奥行き寸法の場合、右図に従って、指定寸法を確保しネジを固定してください。

【重要】ブラケットを設置後にご確認ください。ブラケットを取り付け後に、まずブラケットの透明のプラスチックを押し、手を放した際に、プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してから、製品を取り付けてください。もしプラスチック部品が反発しない場合、製品が落下する可能性があります。ご注意ください。その際は、ネジを1回転ほど緩めて、もう一度プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してください。それでもプラスチック部品が反発しない場合、交換の必要があります。

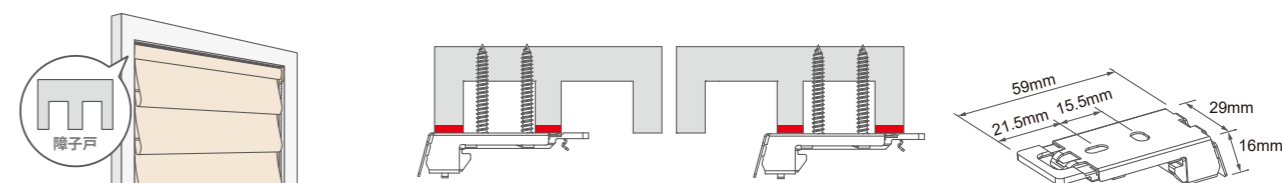


窓枠天井付け



※ ブラケットの設置ネジ穴は、窓枠前面からネジ穴まで19mm以上の間隔が必要です。

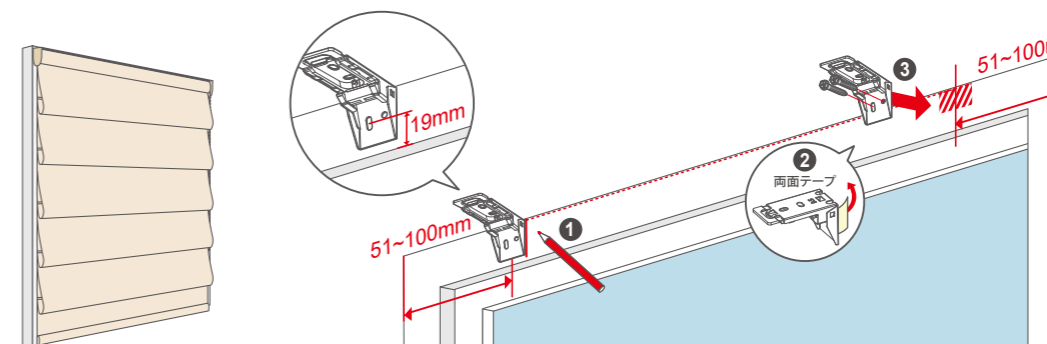
鴨居付け



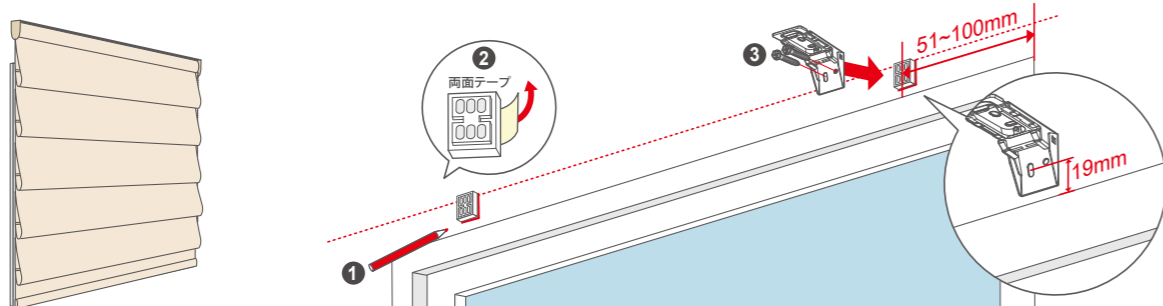
- ① ブラケットが2点の平面に接することを確認し、ネジを凹み箇所差し込み固定してください。
- ② ブラケットを3個以上使用する場合は、中間とのブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的に問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

窓枠正面付け

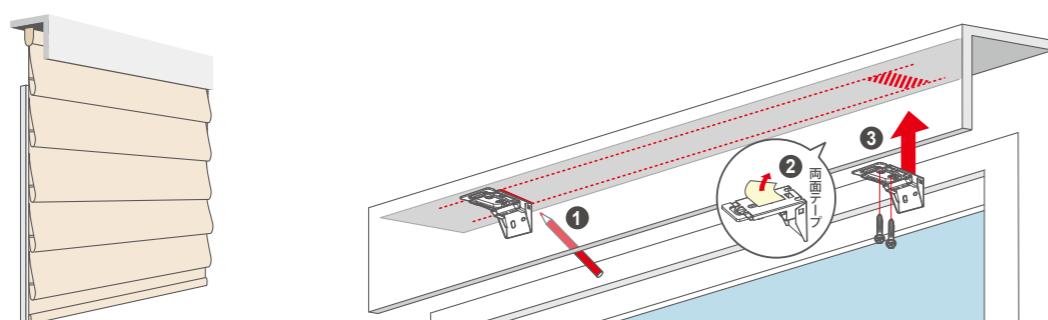


壁面付け



- ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所にブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。ブラケットを左右平行(水平)に、採寸された高さと同じ高さの位置に取り付けてください。
- 図のようにネジ穴から窓枠端まで19mm以上の間隔を推奨します。

カーテンボックス付け(カーテンボックスの中に取り付け)

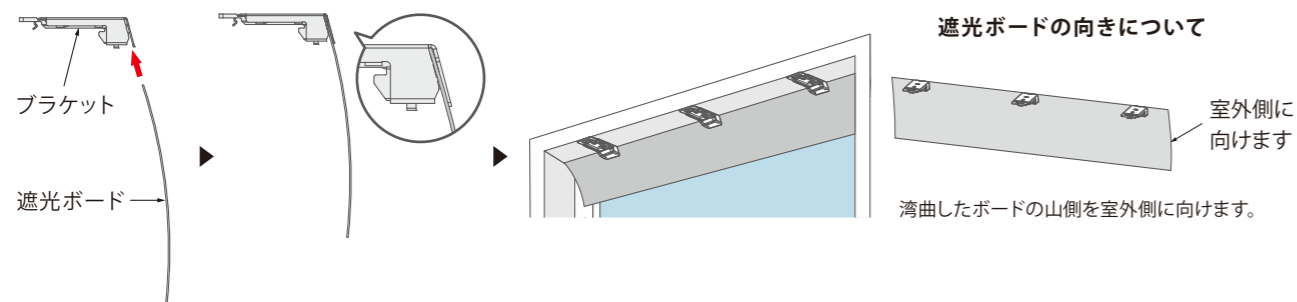


- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ヘッドレールの両端部から約51~100mm内側に位置を決め、各ブラケットが左右平行(水平)になるよう仮止め中のネジをしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間とのブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

7-3 遮光ボードの取り付け・取り外し ※ 窓枠天井付け・鴨居付けオプション:遮光ボード無しの場合は省略

遮光ボードの取り付け

- 遮光ボードを下部から上部のブラケット後ろの溝に差し込みます。



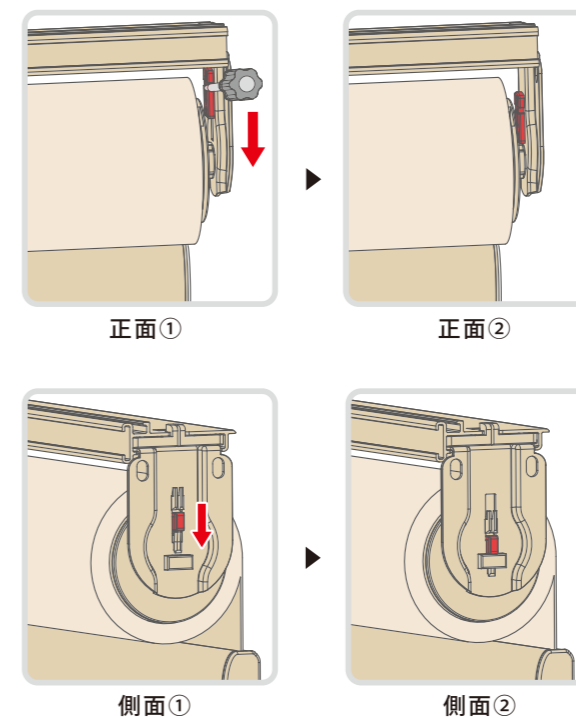
遮光ボードの取り外し

- ブラケットから遮光ボードを取り外します。
※ ブラケットの返しツメにより、取り外す時には遮光ボードにキズがつくことがあります。
- 遮光ボードを矢印の方向に引き出すと、取り外すことができます。

7-4 スクリーン本体の取り付け・取り外し

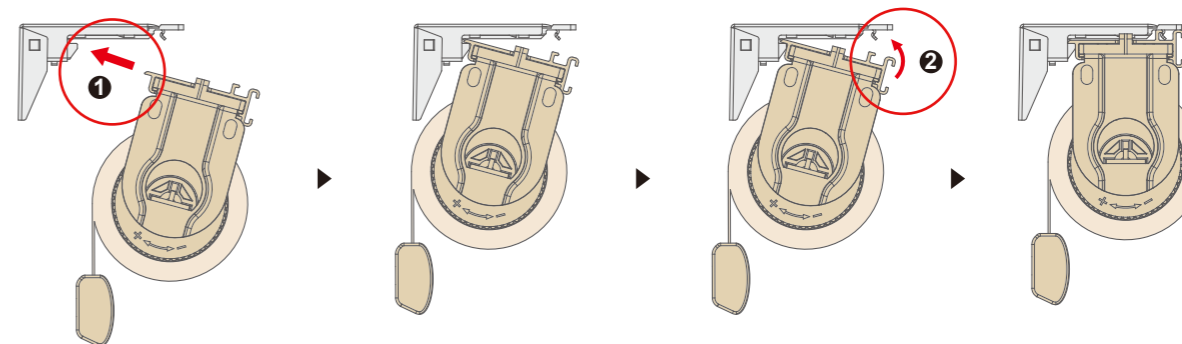
7-4-1 スクリーン本体の取り付け

- 図の通り、マイナスドライバーなどで矢印の方向にツマミを下ろしロック状態にします。



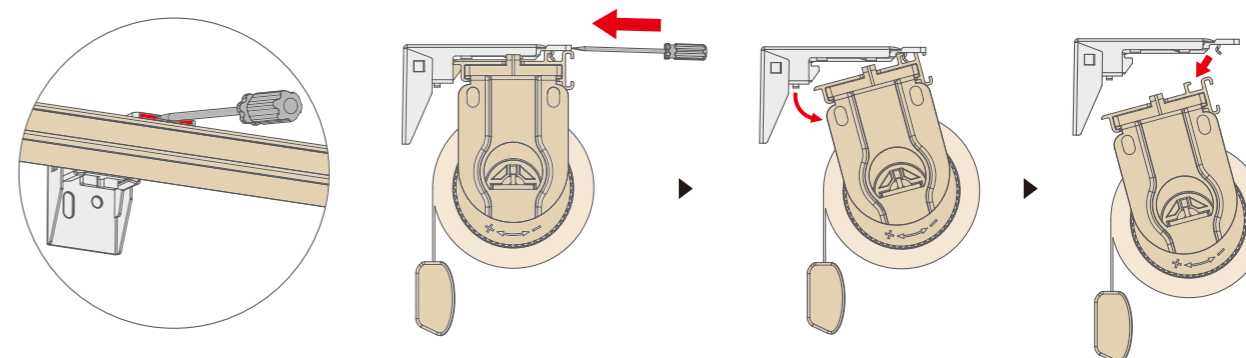
- スクリーン本体を、下記の手順でブラケットに固定します。

- ① ヘッドレール後部突起部分をブラケット奥の樹脂部分に差し込みます。
- ② その後、ヘッドレール前部はめ込み部分をブラケットの先端のツメに押し込みしっかりと固定します。



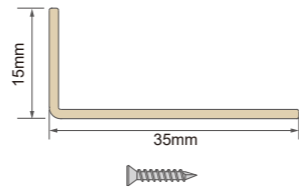
7-4-2 スクリーン本体の取り外し

- マイナスドライバーなどの工具を使い、ブラケットの樹脂部分を奥に押し込み、ブラケットからヘッドレールのロックをはずします。

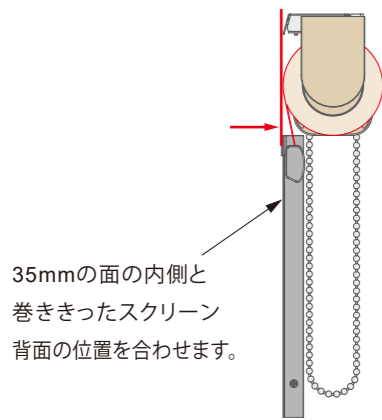


7-5 遮光サイドフレームの取り付け ※ 窓枠天井付け・鴨居付けオプション: 遮光サイドフレーム無しの場合は省略

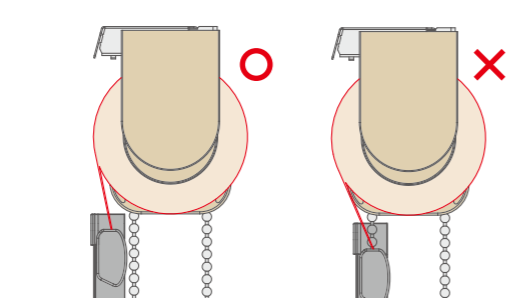
- 必ずスクリーン本体と遮光ボードの取り付け後に、遮光サイドフレームの取り付けをしてください。
- 遮光サイドフレームはスクリーン裏(室外側)に左右1本ずつ取り付けます。
 - ① 取り付けの前に、設置位置を確認し鉛筆でマークします。
 - ② 35mmの面の内側と巻ききったスクリーン背面の位置を合わせます。
 - ※ 巻き上がったスクリーンの位置は巻き代により変動します。



※ 遮光フレーム設置用18.5mmネジ、1台ごとに4本付属しています



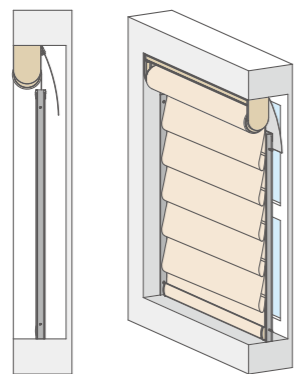
35mmの面の内側と巻ききったスクリーン背面の位置を合わせます。



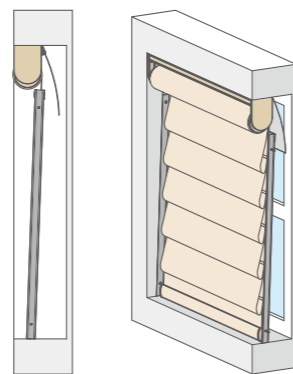
注意 サイドフレームを設置する際、35mmの面が巻き取りパイプに近づけすぎないようにご注意ください。生地背面と遮光サイドフレームが干渉してしまう恐れがあり、生地に干渉してしまうと、破れや操作不良の原因となることがあります。

- 位置が決まったら、両面テープの剥離紙を取り、遮光サイドフレームを取り付けます。
- 落下防止のため、遮光サイドフレームにネジ穴が上下各1箇所あります。付属のネジでしっかりと締めてください。

注意 ネジは設置面に対し垂直に締めてください。ネジが斜めに固定されるとネジ頭が枠内に突出し、生地の昇降を妨げ、製品が破損する恐れがあります。



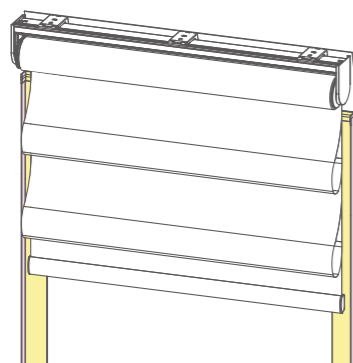
垂直設置



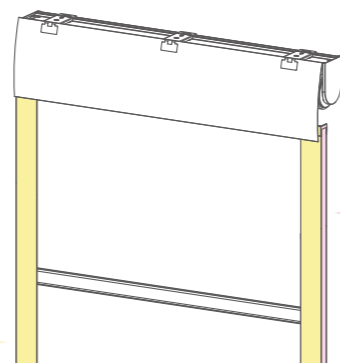
傾斜設置

遮光効果を高めるために、上図のように少し傾けて取り付けることも可能です。

- 設置完了イメージ



室内側から見た図



室外側から見た図

15mmの面

15mmの面

35mmの面

35mmの面

注意 サイドフレームは両面テープで取り付けるため、取り外しの際に壁紙を破損する可能性があります。あらかじめご了承ください。

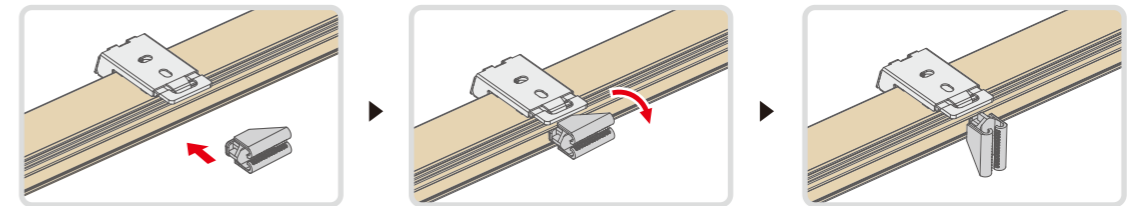
7-6 バランスの取り付け・取り外し ※ オプション: バランス無しの場合は省略

バランスの取り付け手順

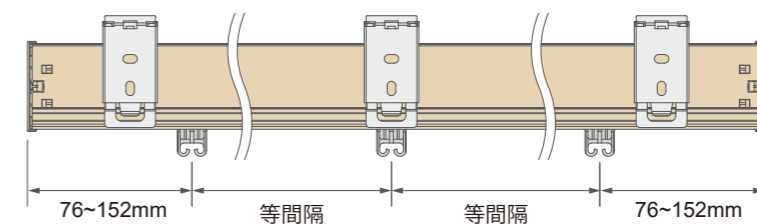
本体を取り付け後、問題なく操作できることを確認後、バランスを取り付けます。

① バランス固定ハンガーを取り付け

バランス固定ハンガーを水平にし、ヘッドレールの溝に入れ、垂直方向に回してください。

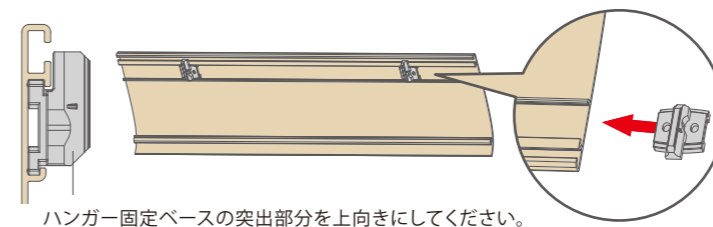


バランス固定ハンガーの設置位置は図のように両端から76~152mm、中間のハンガーは両端と等間隔になるようにしてください。



② ハンガー固定ベースの取り付け

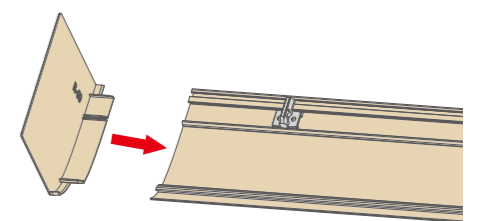
ハンガー固定ベースをバランス裏面のレールにスライドします。



ハンガー固定ベースの突出部分を上向きにしてください。

③ バランスキャップの取り付け

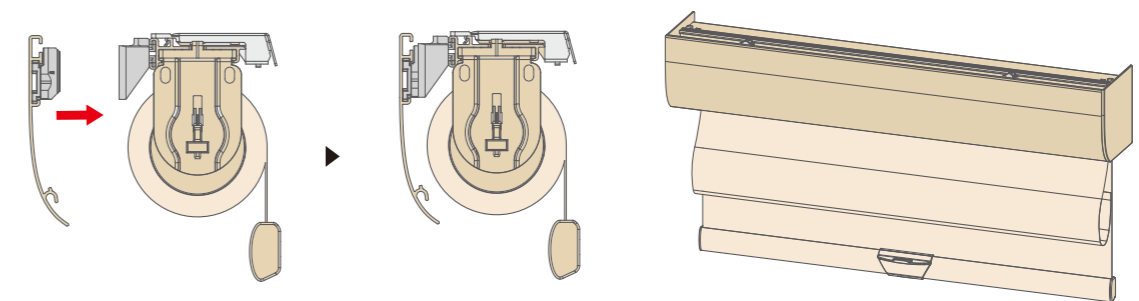
バランスキャップを下図の通り、溝に合わせて差し込みます。



④ バランスとヘッドレールの取り付け

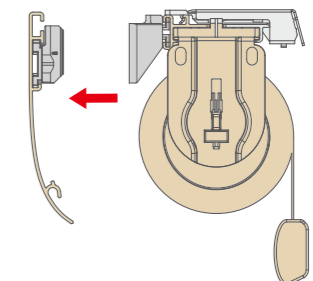
ハンガー固定ベースをスライドさせ、バランス固定ハンガーと合わせてから水平に押し込みます。

また、Jバランスの高さを調整する際にハンガー固定ベースがバランス固定ハンガーを付けたまま上下の調整ができます。

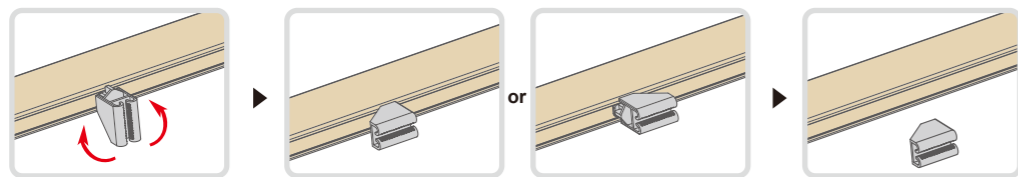


バランスの取り外し

- バランスを水平に外に取り出します。このとき、ハンガー固定ベースも一緒に取り外してください。



- バランス固定ハンガーを外す場合、まずはスクリーン本体を取り外します。
固定ハンガーを水平にしてから、横方向にスライドさせ、ヘッドレールの端から取り出します。



7-7 その他部品の取り付け・取り外し

チェーンクリップの取り付け (チェーンタイプ)

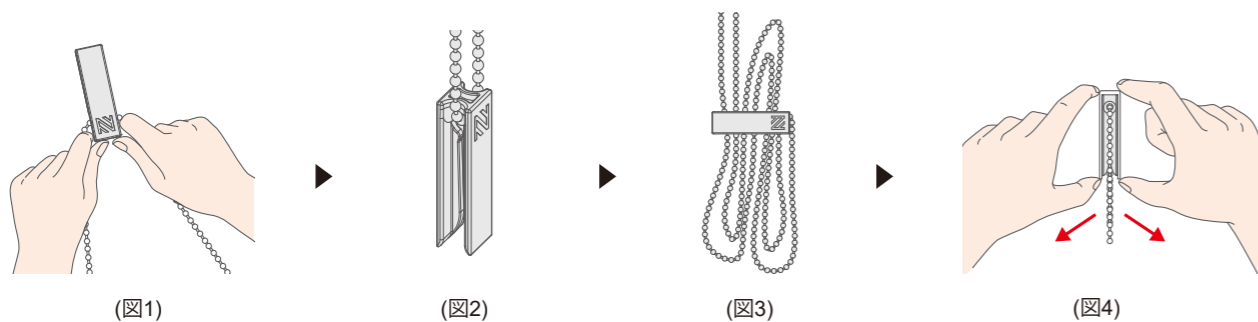
1. チェーンクリップをチェーンの任意の位置で挟みます。
2. 両手でチェーンを支えながら両親指でチェーンクリップを押してください。(図1)
3. カチッと音がするまで(チェーンクリップ最奥まで)チェーンを押し込みます。(図2)

チェーンクリップの使い方

余ったチェーンをチェーンクリップに挟み込みながらお子さまの手の届かない高さでまとめましょう。(図3)

チェーンクリップの取り外し (チェーンタイプ)

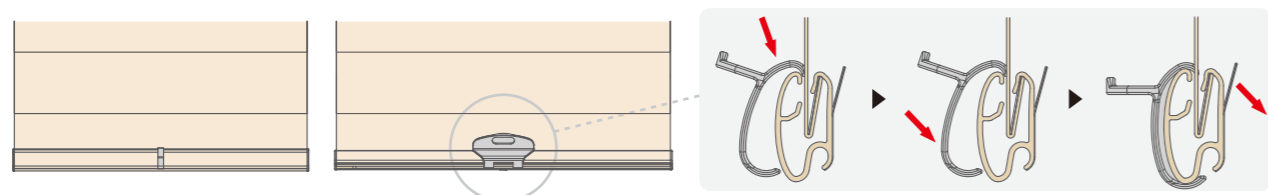
チェーンクリップ挟み口を下に向け、両手でゆっくり開きます。(図4)



ご注意ください お子様をチェーンで遊ばせないでください。チェーンが首や体に巻き付くなどして事故を招く恐れがありますのでご注意ください。操作をしない時は、お子様の手が届かない位置でチェーンを束ねて、チェーンクリップで固定してください。

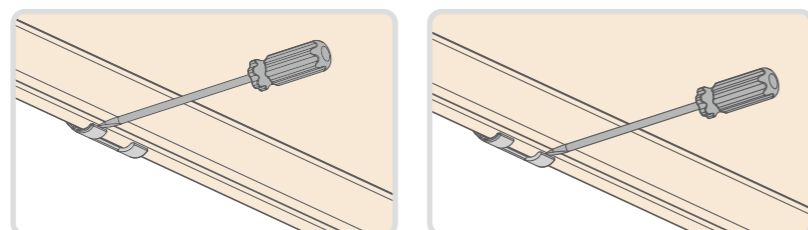
グリップの取り付け(コードレスタイプ)

- ボトムレールの裏面にグリップ設置位置を示すシールが貼付されています。グリップ下部中央をシールに合わせ、上から下に向かってボトムレールにグリップを固定させてください。設置後はシールを剥がしてください。

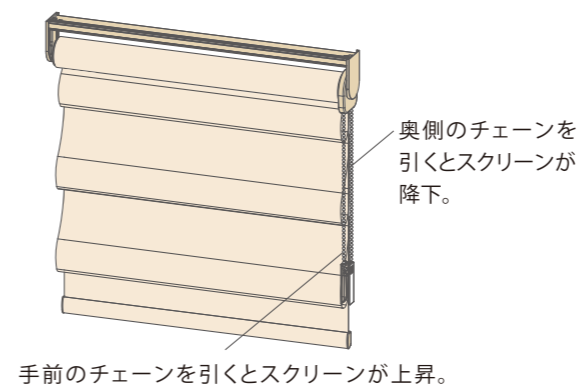


グリップの取り外し(コードレスタイプ)

- 図のようにマイナスドライバーでグリップ下部から取り外します。

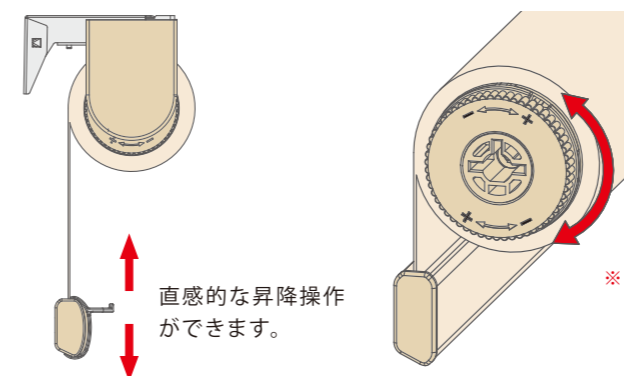


8-1 チェーンタイプ



8-2 コードレスタイプ

グリップに手を添え上げ下げすることで、直感的に高さを調整できます。手の届かない位置の窓のために操作ロッドもあります(オプション)。

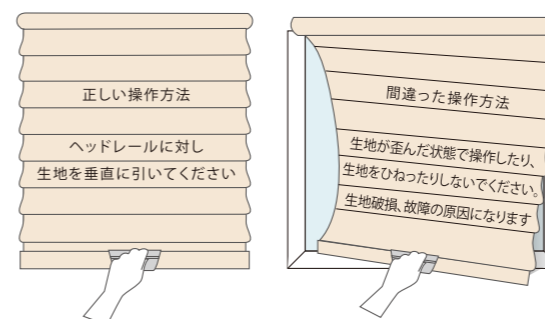


スクリーンが巻き上がりにくいときや自動で降下してしまう場合は、図のように調整ダイヤルを+ (プラス) 方向に回してください。また、スクリーンが弾んで思い通りの位置に止まらない場合、逆の- (マイナス) 方向に回してください。

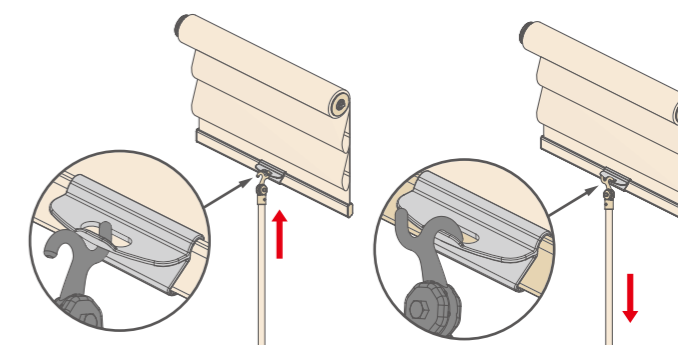
※ 上記の調整はスクリーンがヘッドレールに設置された状態で行ってください。

操作のポイント

昇降は必ずグリップで操作してください。
※ 傾いた状態で上げ下げしてしまうと水平昇降が保てず、正しい動作を損なう恐れがあります。

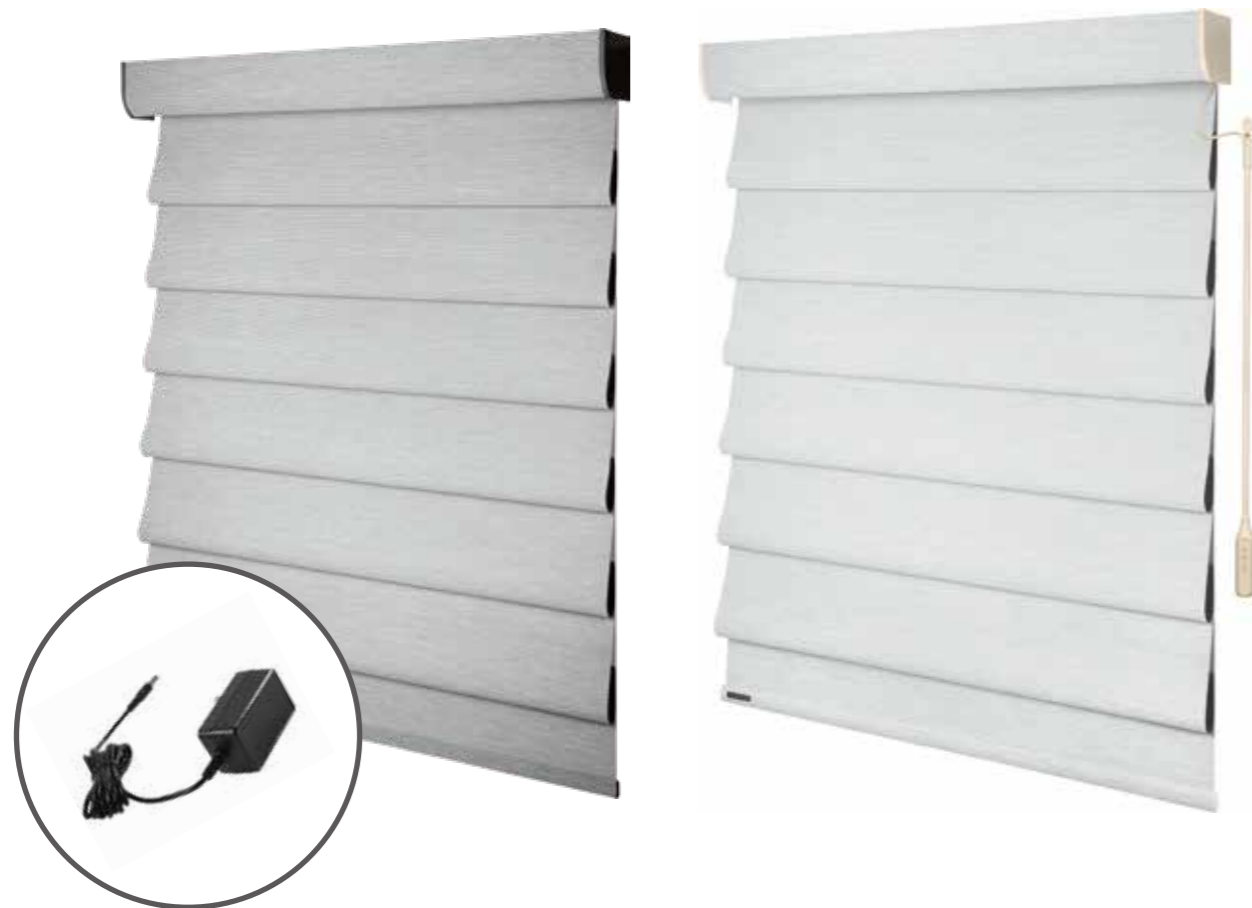


操作ロッド(オプション)



生地が歪んでしまったら?

まずは生地を一番下まで降ろします。次にグリップを持ち数回昇降させると、多くの場合解消されます。



スクリーン本体ACアダプタモデル

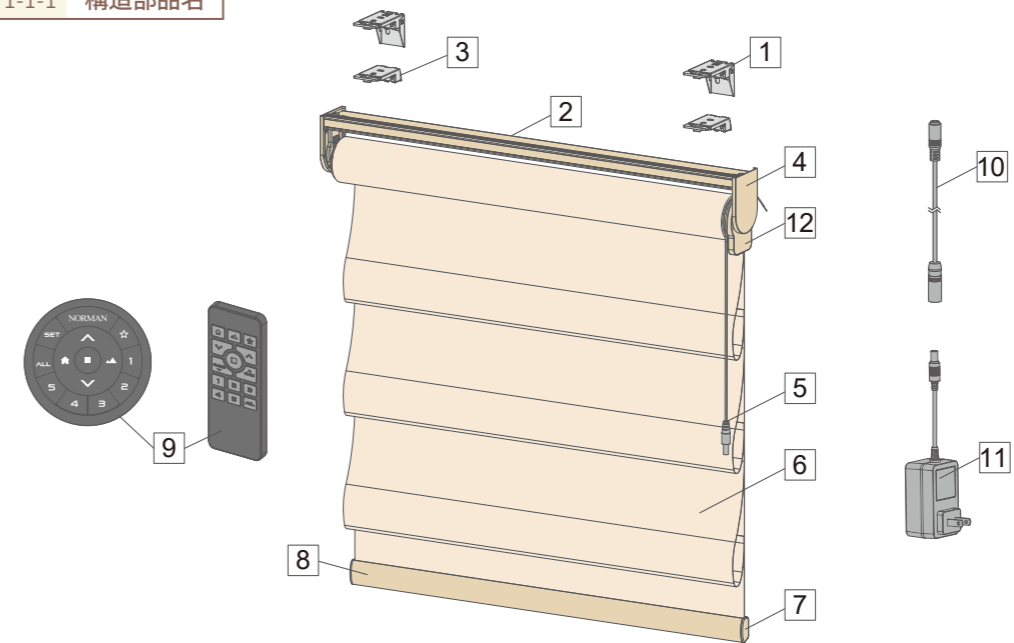
e-スティック

電動タイプ フルイールスクリーン

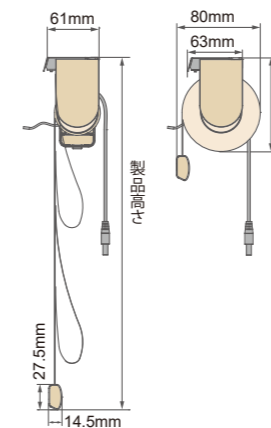
※ 生地詳細一覧と部品配色表は別紙参照

1-1 スクリーン本体ACアダプタ式

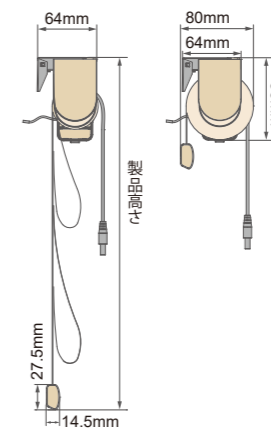
1-1-1 構造部品名



【内付けの場合】



【外付けの場合】



3.5"外付け用ブラケット

※ ブラケット詳細はP30をご覧ください。

部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル	-
(2) ヘッドレール	アルミニウム	3色
(3) 内付けブラケット	メタル	-
(4) サイドキャップ※1	樹脂成型品	3色
(5) 電源接続ケーブル	メタル及び樹脂成型品	ブラックのみ
(6) スクリーン	生地により異なります	生地詳細一覧と部品配色表を参照
(7) ボトムキャップ	樹脂成型品	生地色に合わせて配色
(8) ボトムレール	アルミニウム	袋縫い仕上げ ※2
(9) リモコン(RC-A01) / SmartDial™ G2	メタル及び樹脂成型品	ブラックのみ <別売り>
(10) アダプタ接続ケーブル	メタル及び樹脂成型品	ACアダプタの色と同様 ※3
(11) 36W ACアダプタ	メタル及び樹脂成型品	2色
(12) 手動スイッチ&表示灯	樹脂成型品	

※1 バランスオプションを選択された場合、サイドキャップは付属しません。

※2 袋縫い仕上げの場合、製品本体と同じ生地でスクリーンごとに室内側のレールのみ覆って製作します。

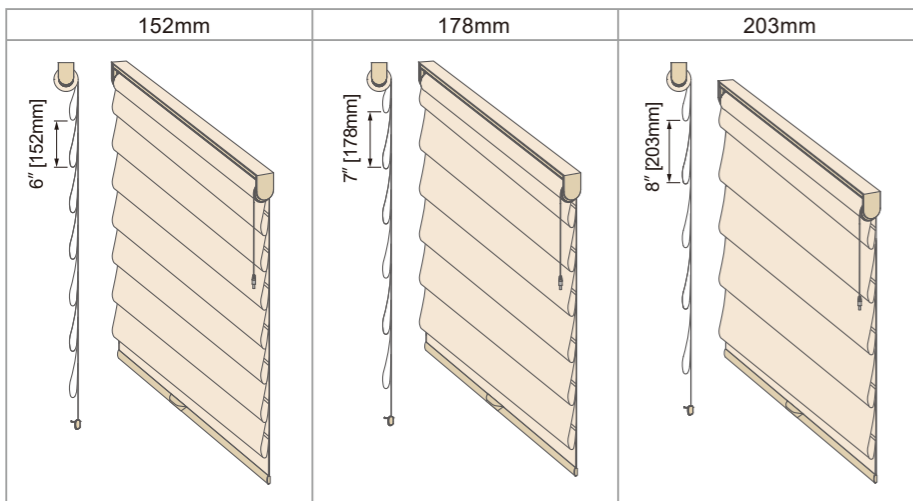
※3 電源接続ケーブルに接続された状態で出荷されます。36W ACアダプタ用。

1-1-2 製作可能寸法

【製作可能寸法】

製品幅 (mm)	製品高さ (mm)	製作最大面積 (m ²)	幅：高さの比率
420~2400	600~2400	5.76	1:4

1-1-3 製作可能折幅



※ ご注文高さに対する折幅の枚数計算方法：(仕上がり高さ÷折幅寸法)÷折幅寸法 公差±1折幅
 ※ スクリーン一番下の生地は折幅の半分となります。

1-1-4 モーター配置位置

操作部	配置	
	標準	オプション
モーター	右	左

1-1-5 スクリーン本体仕様

【スクリーン本体仕様】



スクリーン製品モデル	スクリーン本体 ACアダプタ式	スクリーン製品モデル	スクリーン本体 ACアダプタ式
給電方法	ACアダプタ	電源供給の方法	ACアダプタをコンセントに接続
入力	AC 100-240V, 50/60Hz	充電時間	-
出力	24V ≐ 1.03A Max	充電温度範囲	5℃~35℃
無線電波タイプ	2.4G RF	動作温度範囲	0℃~40℃
モーター種類	DCブラシモーター	動作湿度範囲 (RH)	0%~90%(未結露)



警告 給電は必ず付属の36W ACアダプタ(①-②)(UHVUU3036-240015SA)を使用してください。

1-1-6 給電関連部品

【電源アクセサリ】 ※ 必要に応じて別途購入

	ShadeAuto™ HUB	リピーター(中継器)
	020-230266	020-190014
電源	5V DC / 1A	5V 1A Type-A ポート
Wi-Fi接続周波数	2.4 GHz & 5GHz	-
シェード接続周波数	2.4 GHz (専用プロトコル)	2.4 GHz (専用プロトコル)
電波接続範囲(遮蔽物がない状態)	30 m	10m
インターネット接続方法	イーサネット (CAT5) およびWi-Fi無線接続	-
動作温度範囲	0℃ ~ 45℃	0℃ ~ 45℃
使用用途	専用アプリ「ShadeAuto™ APP」やスマートホームに連携するために必要	シグナルが遮られたり距離が長くなりすぎる場合に電波を強化し、通信範囲を広げるために使用

【操作デバイス】

本製品を操作するには、リモコンまたはSmart Dial™ G2のいずれかを手元に用意する必要があります (以前購入したもので使用可能)。どちらか1つあれば操作が可能で、さらに1台のデバイスで複数製品を操作することができます。

	リモコン	SmartDial™ G2
	020-220441	020-230277
製品型番	RC-A01	DIAL01
色	ブラック	ブラック※1
外形寸法	幅50 × 高さ135 × 奥行き9.5 mm	直径67.6 × 高さ21.2 mm
質量(電池を含む)	62g ± 5g	74.5g ± 20g
電源	CR2032リチウムボタン電池 × 2個 (3V)	CR2032リチウムボタン電池 × 2個 (3V)
無線通信方式	FM電波式 (2.4 GHz / 一般的な通信規格)	RF方式 (2.4 GHz / 専用プロトコル)
動作温度範囲	0℃ ~ 50℃	0℃ ~ 50℃

※1 着せ替え用ベセルで、好みに応じて外観をカスタマイズ可能です (別途オプション)。

【電源アクセサリ】

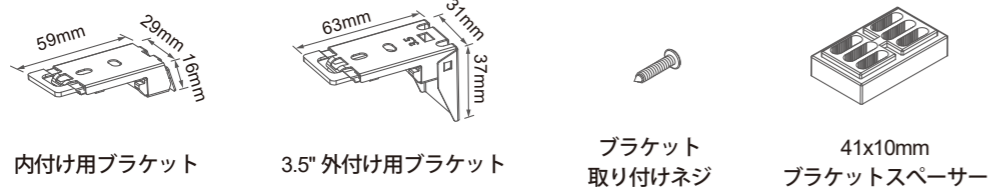
36W ACアダプタ	延長コード
電源に差し込み、本体に接続します。 電源接続コードの長さ1500mm	カラー： 黒・白(ACアダプタの色と同様) 延長コード長さ2000mm

1-1-7 取付関連部品

【ブラケット(専用取り付け金具)】

取り付けタイプ	名称	図面
窓枠天井付け 鴨居付け カーテンボックス付け	内付け用ブラケット	
窓枠正面付け 壁面付け	3.5" 外付け用ブラケット ※1	

【付属部品の種類と数量】 ※ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。



【窓枠天井付け、鴨居付け、カーテンボックス付けの場合】

製品幅(mm)	内付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※1
~1016	2	4
1017~2032	3	6
2033~	4	8

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。通常は19mmのネジが付属しますが鴨居付けの場合は31mmのネジが付属します。

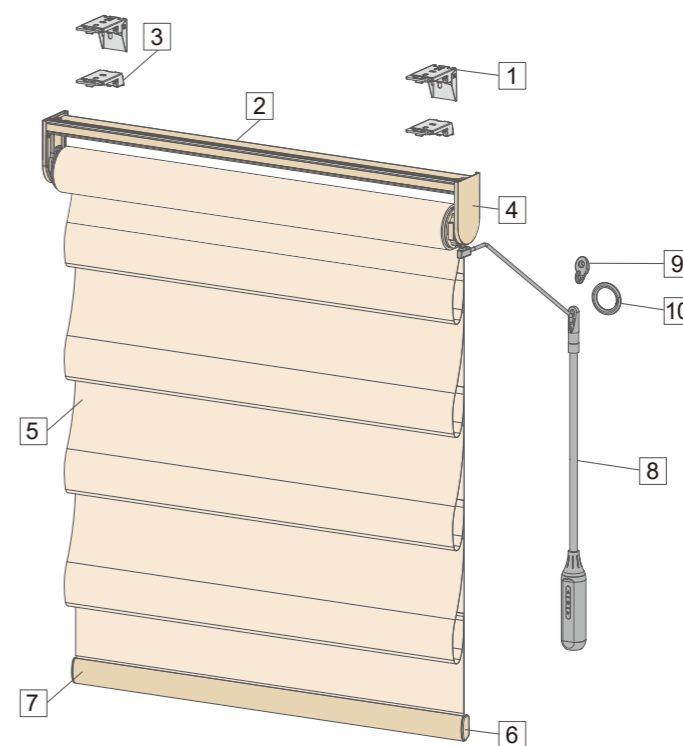
【窓枠正面付け、壁面付けの場合】

製品幅(mm)	3.5"外付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ ※1	41x10mm ブラケットスペーサー※2
~1016	2	4	2
1017~2032	3	6	3
2033~	4	8	4

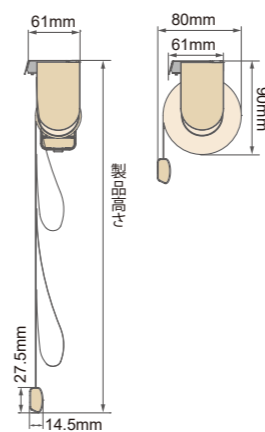
※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。通常は19mmのネジが付属します。壁面付けでブラケットスペーサー1連使用の場合は38mm、2連は51mm、3連は63.5mmのネジが付属します。
 ※2 上記ブラケットスペーサーの数量は1連の場合で、2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。ご指定がない場合(標準)、ブラケットスペーサーは付属しません。スペーサーが必要なときは漏れがないよう、注文内容に十分ご注意ください。

1-2 スクリーン本体e-スティック

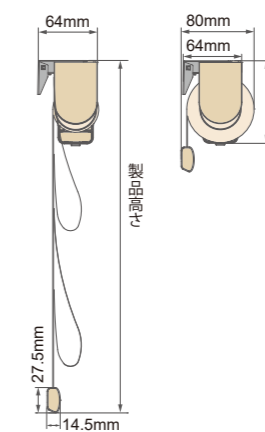
1-2-1 構造部品名



【内付けの場合】



【外付けの場合】



3.5"外付け用ブラケット

※ブラケット詳細はP30をご覧ください。

部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル	-
(2) ヘッドレール	アルミニウム	3色
(3) 内付けブラケット	メタル	-
(4) サイドキャップ※1	樹脂成型品	3色
(5) スクリーン	生地により異なります	生地詳細一覧と部品配色表を参照
(6) ボトムキャップ	樹脂成型品	生地色に合わせて配色
(7) ボトムレール	アルミニウム	袋縫い仕上げ ※2
(8) e-スティック	メタル及び樹脂成型品	3色
(9) 壁掛けフック	樹脂成型品	3色
(10) e-スティック用リング	樹脂成型品	3色

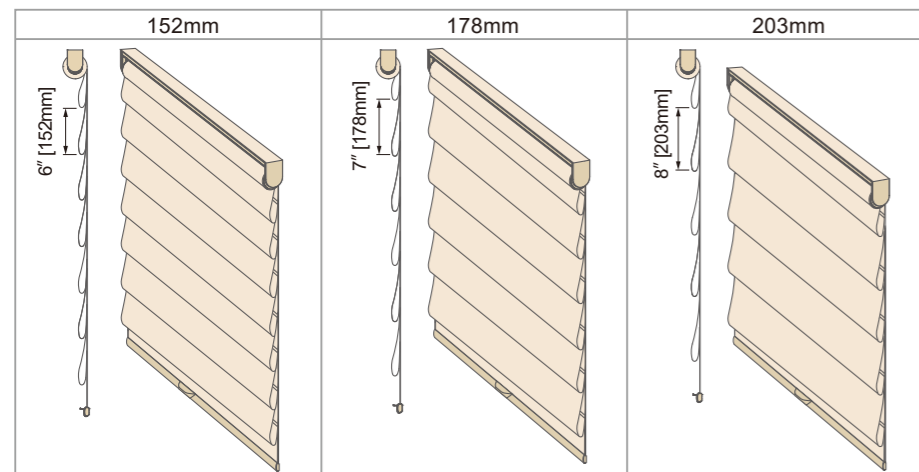
※1 バランスオプションを選択された場合、サイドキャップは付属しません。

※2 袋縫い仕上げの場合、製品本体と同じ生地でスクリーンごとに室内側のレールのみ覆って製作します。

1-2-2 製作可能寸法

幅(mm)	高さ(mm)	最大面積 (m ²) ※ 機構部を含む製品室内側総面積	幅：高さの比率
570~2400	600~2400	5.76	1：4

1-2-3 製作可能折幅



※ご注文高さに対する折幅の枚数計算方法：(仕上がり高さ÷半分の折幅寸法)÷折幅寸法 公差:±1折幅
※スクリーン一番下の生地は半分の折幅寸法となります。

1-2-4 モーター配置位置

操作メカ	操作部	配置	
		標準	オプション
e-スティック式	モーター	右	左

1-2-5 e-スティックの長さ

製品高さに応じて、下記表の通り製作します。【製品高さに対するe-スティックの標準長さ】

製品高さ(H) (ご発注の高さ)	~914mm	915mm~1676mm	1677mm~1981mm	1982mm~2286mm	2287mm~2400mm
e-スティックの長さ	406mm	610mm	915mm	1220mm	1524mm

【e-スティックの長さを指定する場合】

ご要望に応じて、e-スティックの長さをご指定いただけます。
製作可能な長さは、203 / 406 / 610 / 915 / 1220 / 1524 / 1828 mm となっております。

1-2-6 スクリーン本体仕様

【スクリーン本体仕様】

スクリーン製品モデル	e-スティック	スクリーン製品モデル	e-スティック
給電方法	リチウムイオンバッテリー	電源供給の方法	e-スティック
入力	4.5~5.5 Vdc	充電時間	5~6時間程
出力	0.5A @7.4 Vdc	充電温度範囲	0℃~45℃
無線電波タイプ	-	動作温度範囲	-10℃~40℃
モーター種類	DCブラシモーター	動作湿度範囲 (RH)	~ 80%

【電源アクセサリ】

Type-C充電ケーブル	
	e-スティックに接続します。 Type-C充電ケーブルの長さ2000mm カラー：白 ※Type-Cアダプターは本製品には付属されていません。

1-2-7 取付関連部品

【ブラケット(専用取り付け金具)】

取り付けタイプ	名称	図面
窓枠天井付け 鴨居付け カーテンボックス付け	内付け用ブラケット	
窓枠正面付け 壁面付け	3.5" 外付け用ブラケット	

1-3 製品重量の目安

操作メカ	製品幅(mm)	重量計算式(kg)	差異値
本体AC アダプタ式	~1981	製品重量=製品幅(m)*製品高さ(m)*生地重量目安(kg/m ²)+製品幅(m)*0.9+0.79	±0.5kg
	1982~2400	製品重量=製品幅(m)*製品高さ(m)*生地重量目安(kg/m ²)+製品幅(m)*1.1+0.79	
本体e-スティック	~1981	製品重量=製品幅(m)*製品高さ(m)*生地重量目安(kg/m ²)+製品幅(m)*0.9+0.89	
	1982~2400	製品重量=製品幅(m)*製品高さ(m)*生地重量目安(kg/m ²)+製品幅(m)*1.1+0.89	

※上記計算式はJ型バランスなしの場合です。J型バランスを選択された場合の製品総重量をお求めの場合は、J型バランスの重量を加えてください。
89mmJ型バランスの重量+252g/m

※数値はあくまで目安であり保証するものではありません。生地ロットによって誤差がございます。あらかじめご了承ください。

1-4 製品巻き代の目安

巻き代は最大133mm。
※数値はあくまで目安であり保証するものではありません。生地ロットや製品高さ、生地厚さなどによって誤差がございます。あらかじめご了承ください。

1-5 構造上生じる生地の間隔

電動タイプ	電動タイプ	
	非操作側 (A)	操作側 (B)
	14	18.5

※ 操作側定義：モーター側。左右オプションを選ぶ場合は選択した側になります。
※ 窓枠内に設置するタイプの場合、製造規定により上表よりも隙間が少し大きくなる場合があります。
※ 上記の数値は、J型バランスがない場合の参考値です。目安としてご活用ください。

02 オプション

2-1 J型バランス

2-1-1 J型バランス関連寸法

バランス タイプ	バランスキャップ ※1		バランス 固定ハンガー	ハンガー 固定ベース
	窓枠天井付け・鴨居付け	窓枠正面付け・壁面付け・カーテンボックス付け		
89mm J型バランス				

※1 バランスキャップはJ型バランスより3mm程度高くなります

2-1-2 J型バランス設置部品

製品幅(mm)	~838	839~1372	1373~1905	1906~2400
高さ調節ハンガー	2	3	4	5
ハンガー 固定ベース				

2-1-3 J型バランス標準照合表

取り付けタイプ	バランスタイプ	バランスキャップ奥行※1	バランス幅(キャップ含め)	取り付けイメージ図※2
窓枠天井付け 鴨居付け	89mm	68mm	製品幅	窓枠天井付け 鴨居付け
窓枠正面付け 壁面付け		91mm		窓枠正面付け 壁面付け
カーテン ボックス付け	91mm	カーテン ボックス付け		

※1 全操作メカ共通。J型バランスの幅&バランスキャップの寸法指定はできません。

2-1-4 取り付けタイプ別収まり図

【窓枠天井付け・鴨居付け】

標準仕様	取り付けタイプ	収まり図
標準仕様 バランス無	内付け用ブラケット 	
J型 バランス仕様	バランスキャップ 	

【窓枠正面付け・壁面付け】

■ 3.5" 外付け用ブラケット

標準仕様	取り付けタイプ	収まり図
標準仕様 バランス無	3.5" 外付け用ブラケット 	
J型 バランス仕様	バランスキャップ 	

【カーテンボックス付け】

標準仕様	取り付けタイプ	収まり図
標準仕様 バランス無	内付け用ブラケット 	
J型 バランス仕様	バランスキャップ 	

2-2 遮光オプション

2-2-1 遮光ボード

遮光ボードは巻き取り部に生じる隙間をカバーします。光漏れを最小限におさえ、窓枠天井付け製品の遮光性を高めます。

2-2-2 遮光サイドフレーム

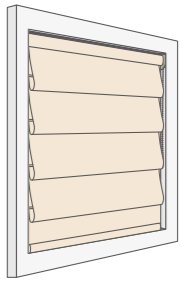
生地と窓枠の隙間を覆うことで遮光性が向上する遮光サイドフレームは、窓枠内付けて効果を発揮します。3色からお選びいただけます。



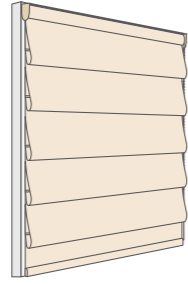
名称	色	図面	材質	適用取り付けタイプ
遮光ボード			樹脂成型品	窓枠天井付け 鴨居付け
遮光サイド フレーム			アルミニウム	窓枠天井付け 鴨居付け

※ 遮光サイドフレームの高さは、窓下枠内側からスクリーン操作部（ドラム）またはスクリーンが巻き上がりきった位置の下5mmまで。

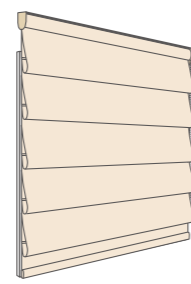
窓枠天井付け・鴨居付け
(窓枠の内側に取り付ける場合)



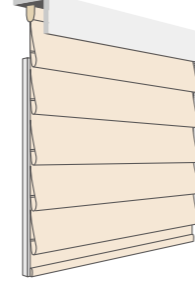
窓枠正面付け
(窓枠の正面に取り付ける場合)



壁面付け
(窓枠の上の壁面に取り付ける場合)



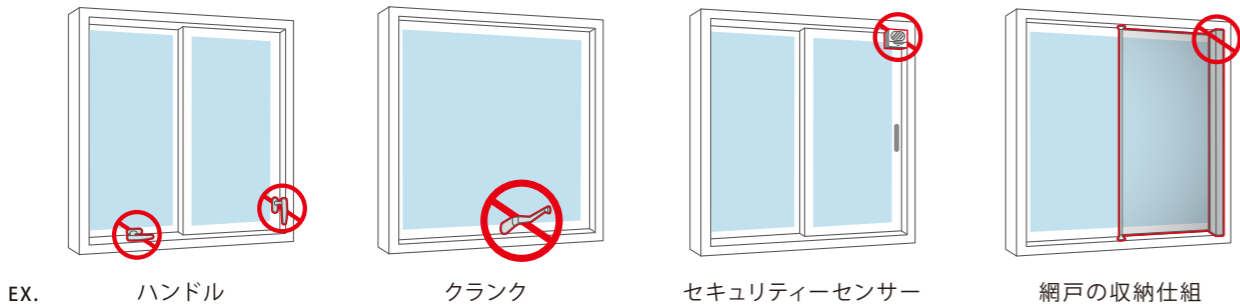
カーテンボックス付け
(カーテンボックス内に取り付ける場合)



04 取り付け条件

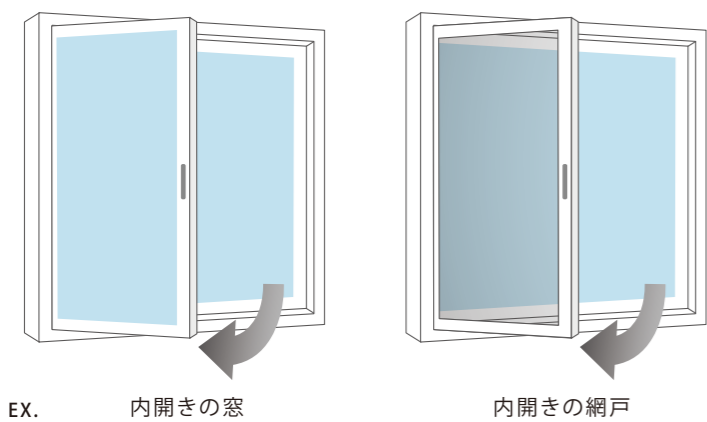
4-1 窓枠天井付け / 鴨居付け

条件1 障害物など干渉するものがないこと



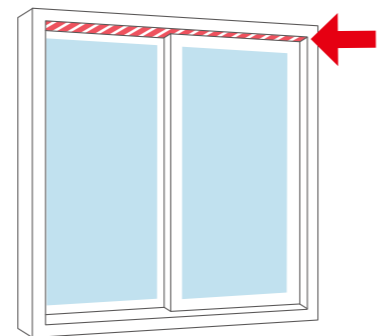
EX. ハンドル クランク セキュリティーセンサー 網戸の収納仕組

条件2 内開き窓・網戸は避けてください



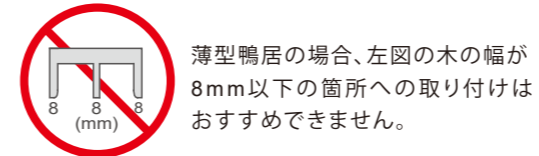
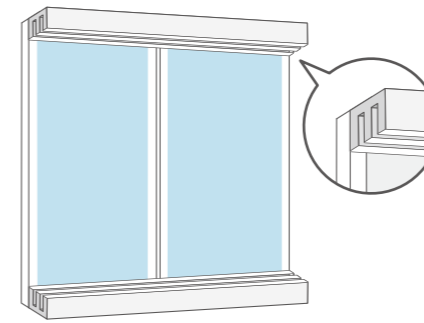
EX. 内開きの窓 内開きの網戸

条件3 下地が木材であること



ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が木材でできていること(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)。

条件1、2に示した例は参考です。上例に限らず、取り付けや製品動作へ干渉する物等には十分ご注意ください。

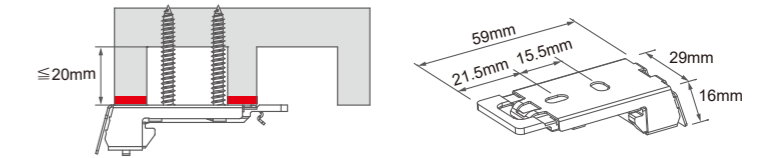


薄型鴨居の場合、左図の木の幅が8mm以下の箇所への取り付けはおすすめできません。

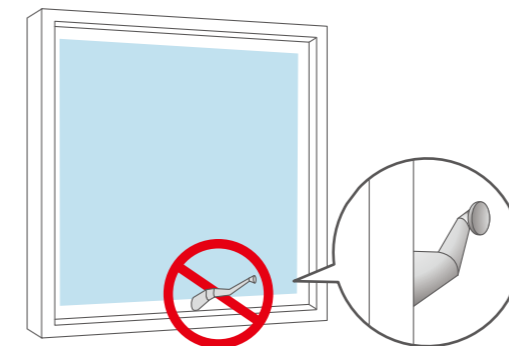
【鴨居付け】

- 和室によく見られる障子枠の鴨居への取り付けは可能でしょうか？
- 原則として、取り付けに問題ございません。鴨居の寸法を確認し、スクリーンのブラケットが2点の平面に支えられることをご確認ください。なお、ヘッドレールの前側と鴨居の前側が揃わないことがあります。あらかじめご了承ください。
 - 下地の厚みが薄いと、ネジが鴨居を貫通する可能性があります。
 - 障子枠の溝部は21~31mmにする必要があります。

取り付けの側面図 (おすすめの取り付け方法)



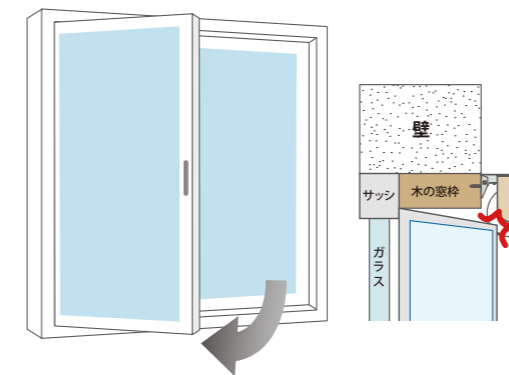
4-2 窓枠正面付け



条件1 障害物など干渉するものがないこと

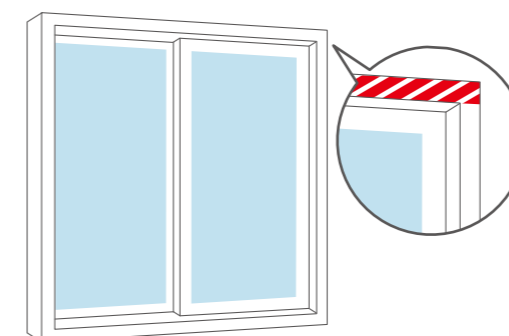
外に突出した取っ手などがある場合は、スクリーンの昇降を妨げます。取っ手が窓枠から突出するかどうかをご確認ください。

条件2 内開き窓・網戸は避けてください



内側に開く窓や網戸がある場合は、図のようにスクリーンを収めると、扉の開閉時の障害になります。(設置位置や畳代をご確認ください)

条件3 下地が木材であること



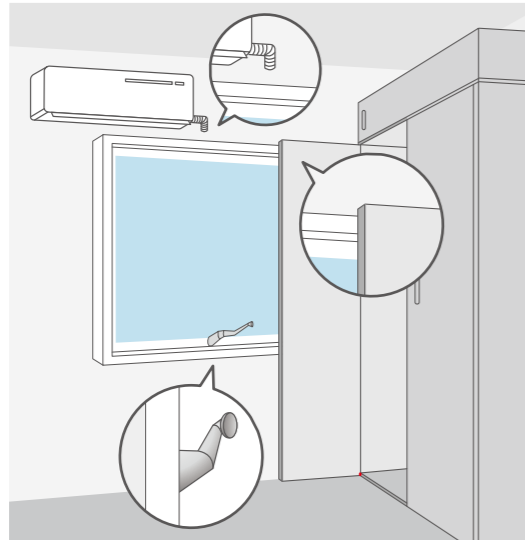
ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が木材でできていること(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)

仕様と構造
オプション
取り付けタイプ
取り付け条件
必要寸法一覧
採寸方法
取り付け方法
操作方法
サイズ定義と公差
製品特性
保証について

仕様と構造
オプション
取り付けタイプ
取り付け条件
必要寸法一覧
採寸方法
取り付け方法
操作方法
サイズ定義と公差
製品特性
保証について

4-3 壁面付け

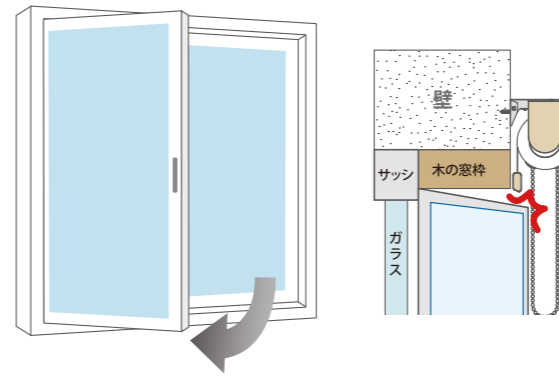
条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと



- 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと。
- 窓枠よりはみ出した箇所へ突出するものがないこと。突出するものがあるとスクリーンの昇降操作に支障をきたすことがあります。
- フルイールスクリーンの製品特徴で、ブラケットスペーサーを利用しない場合、下表のようにスクリーンを降ろした状態と巻き上げた状態ではスクリーンと壁面の距離が変わります。昇降操作上に窓枠または障害物に干渉することにご注意ください。

3.5" 外付け用ブラケット	
巻きあがった図面	降ろした図面
説明	生地と取り付け面が最も離れるのはスクリーンを降ろしきった状態のときです。窓枠や障害物の突出しが0mmを超えると、昇降動作に干渉することがございます。

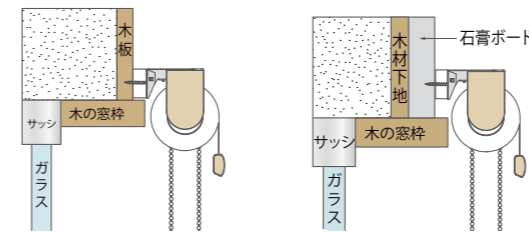
条件 2 内開き窓・内開き網戸の場合、昇降時の干渉を確認済みであること



- 内開き仕様の窓・網戸がある場合、窓・網戸の開閉に支障がでないよう、畳代計算・採寸・取り付けなど十分ご注意ください。

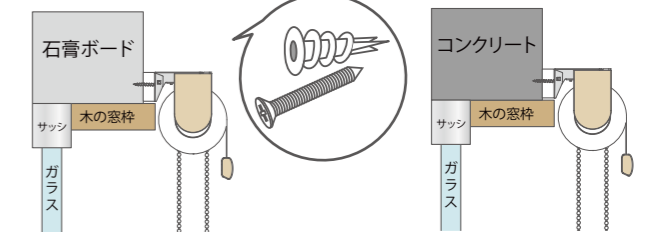
条件 3 取り付け箇所の下地が木材であること

- 下地素材が下図の場合は、商品同梱のネジで取り付けが可能です。



木材、ベニヤである場合

石膏ボードの下に木材の下地がある場合
→ネジが下地まで届かない場合がありますので、下地までの距離をご確認ください。

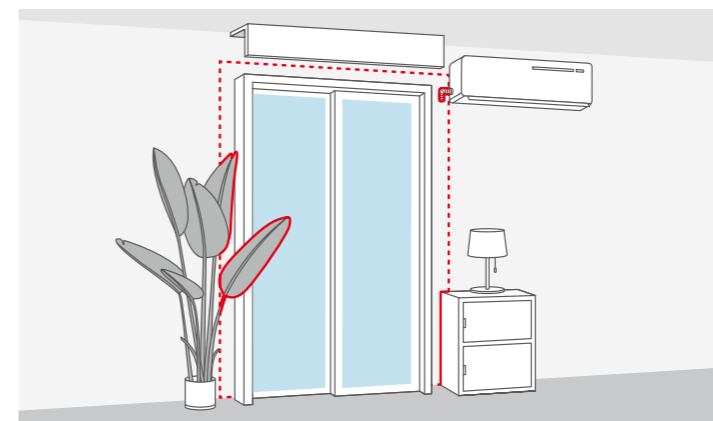


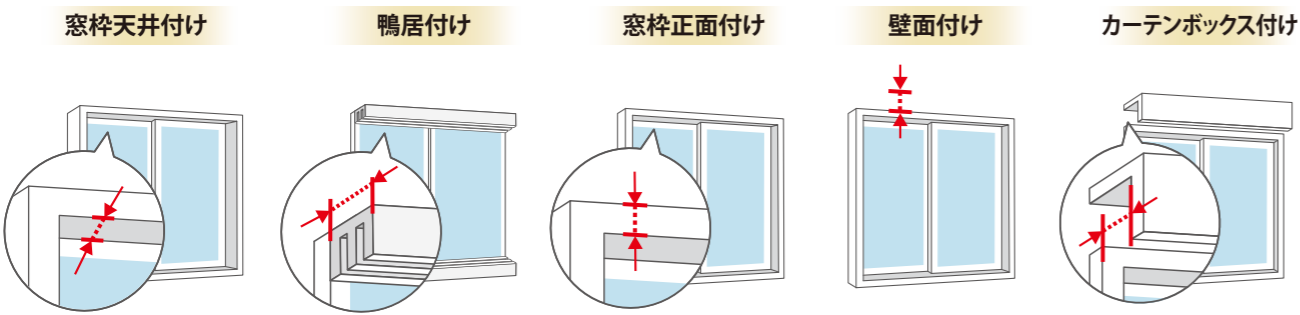
木材の下地がなく、石膏ボードのみの場合(*)
→石膏ボード専用アンカーなどをご利用いただく必要があります。
※非推奨

木材の下地がなく、コンクリートのみの場合
→コンクリート専用ネジのご利用と、施工方法をご確認ください。専門業者による取り付けをおすすめいたします。

4-4 カーテンボックス付け

- 窓枠周辺に、家具やタンス、エアコンなど障害物がないことをご確認ください。

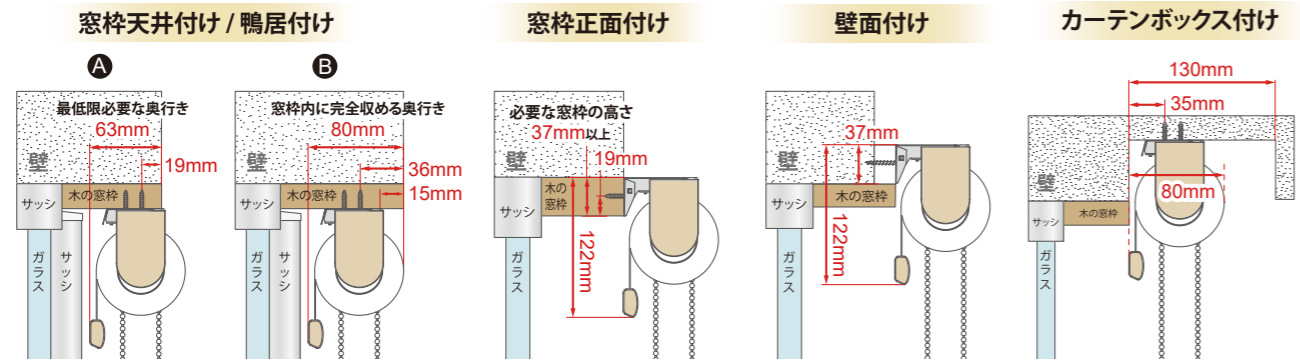




奥行きが足りない場合はブラケットの取り付けができません。必要な奥行きを下記の表にてご確認ください。

窓枠の高さが足りない場合は、ブラケットの設置ができません。

窓枠からカーテンボックスまでの必要寸法。



重要

- A** 窓枠天井付けの場合、窓枠前面からネジ穴まで19mm以上の間隔が必要です。必要な奥行きは63mmですが、スクリーンが窓枠から突出することがございます。
- B** 製品全てを窓枠内に収めるには必要寸法奥行80mm以上、ヘッドレール前面を窓枠前面から15mm奥に設置すること。その他条件については下表ご確認ください。

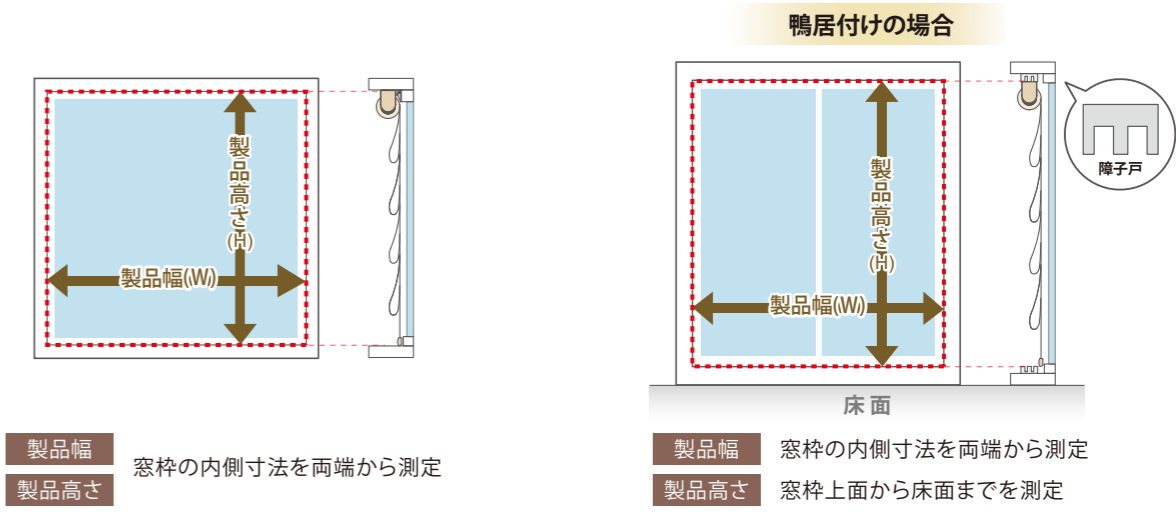
取り付けタイプ	取り付け金具設置面条件	バランスあり	
		バランスなし	89mm仕様
窓枠天井付け 鴨居付け	A 最低限必要な奥行き	63mm	63mm
	B 窓枠内に完全に収める場合	80mm※1	91mm※2
窓枠正面付け	最低限必要な高さ	37mm	92mm※3
壁面付け	天井から窓枠までの寸法(取り付け予定箇所の寸法)	37mm	92mm※3
カーテンボックス付け	カーテンボックスの奥行き	130mm	138mm

※1 ヘッドレール前面を窓枠前面から15mm奥に設置します。
 ※2 ヘッドレール前面を窓枠前面から28mm奥に設置します。
 ※3 バランスを窓枠上に収める場合92mm。

【採寸の準備】
 サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。
 ※ 新築等の図面上サイズでご注文いただきますと、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文ください。

【採寸時のご注意】
 窓は見た目と同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

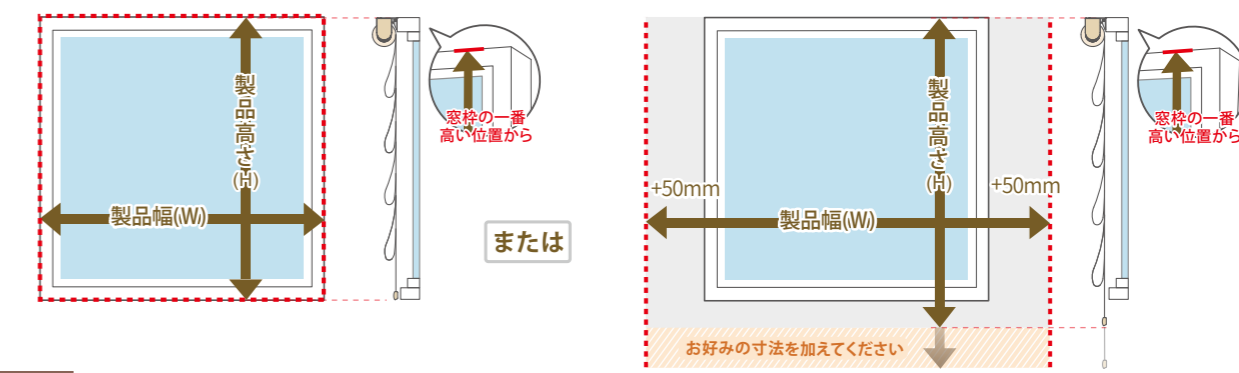
6-1 窓枠天井付け / 鴨居付け



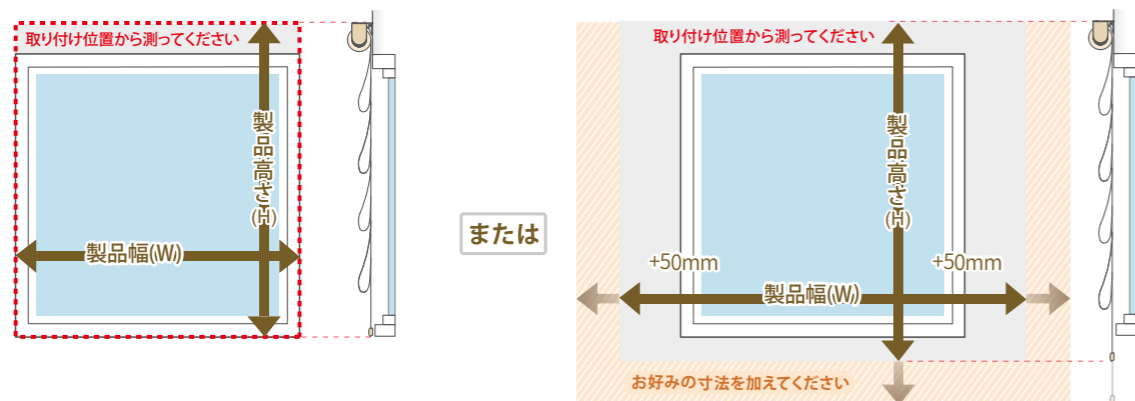
ご注意ください

- 窓枠の歪みにより、製品が設置できない場合があります。
 幅・高さともに3か所以上(上中下、左右中など)を採寸し、それぞれ最小の寸法にてご注文ください。
- 「枠内実寸」で発注する場合、採寸は、幅、高さとも窓枠の内側寸法を何も引かず、正確に測ってください。
 窓枠内に収まるよう製品に合わせ、工場にて1台あたり幅3mmを引いて製作します。(幅のみ)
 取り付け後の窓枠とスクリーンの隙間は操作メカにより異なります。P.52 1-5 構造上生じる生地の隙間 表記寸法を参照してください。
- 窓枠天井付けの場合、メカの構造によって光漏れが生じる箇所がございます。ご購入の際は有料オプション「遮光ボード」&「遮光サイドフレーム」をご活用ください。隙間からの光漏れを最大限低減します。製品を天井に設置し間仕切りとして使用する場合、天井の強度が足りず設置できない場合があります。必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。

6-2 窓枠正面付け



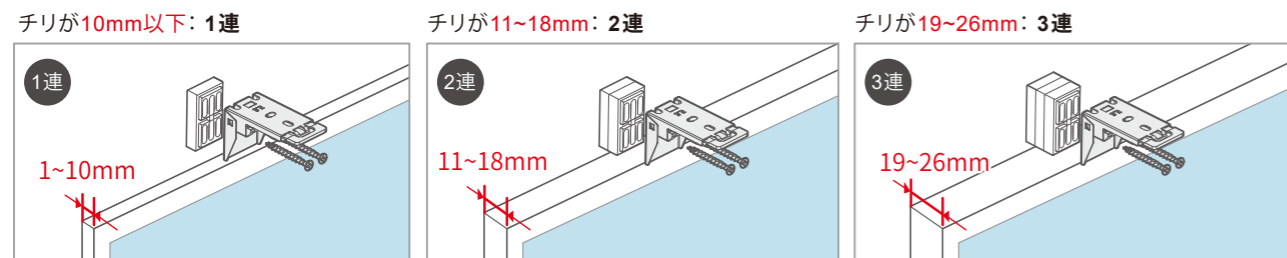
6-3 壁面付け



- 製品幅** 窓枠の外側寸法を両端から測定
- 窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各 30~50mmほど余裕をもたせることがおすすめです。ただし、周りに障害物がないか必ず確認してください。
- 製品高さ** 窓枠の外側寸法を両端から測定
- 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

【窓枠のチリを逃がして取り付ける場合-ブラケットスペーサーの使用】

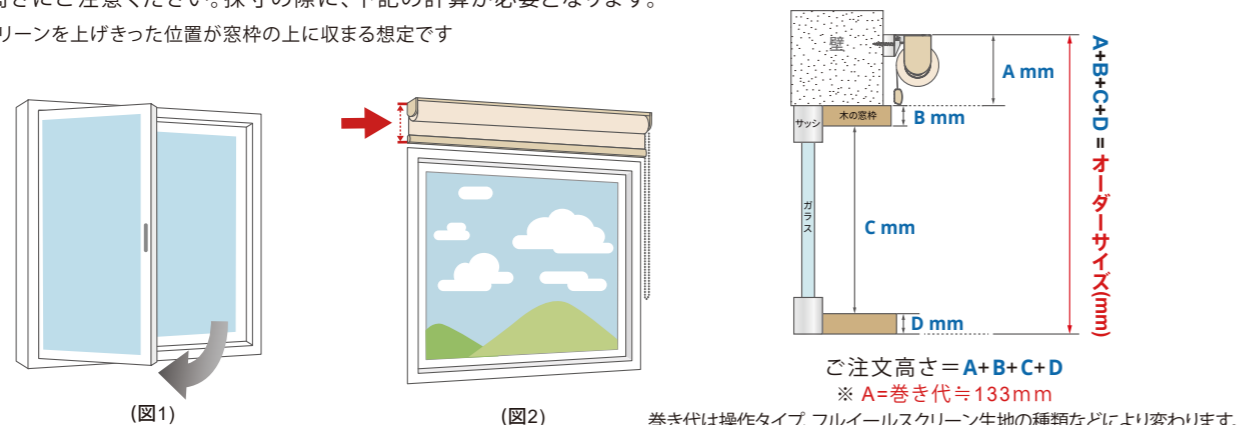
壁と窓枠にチリ(段差)がある場合、ブラケットスペーサーを使用することでスクリーンの取り付けが可能です。チリの寸法に応じて、ブラケットスペーサーの個数を最大3つまで選択できます。それ以上の数が必要な場合は、壁面以外の取り付け方法をお選びください。



■ 内開きの窓・網戸がある場合や、窓枠上に製品を収めたい場合のご注文サイズについて

内開きの窓や網戸がある場合(図1)や、窓枠上に製品を収めたい場合(図2)は、採寸と取り付けの際、量代とスクリーンを設置する高さにご注意ください。採寸の際に、下記の計算が必要となります。

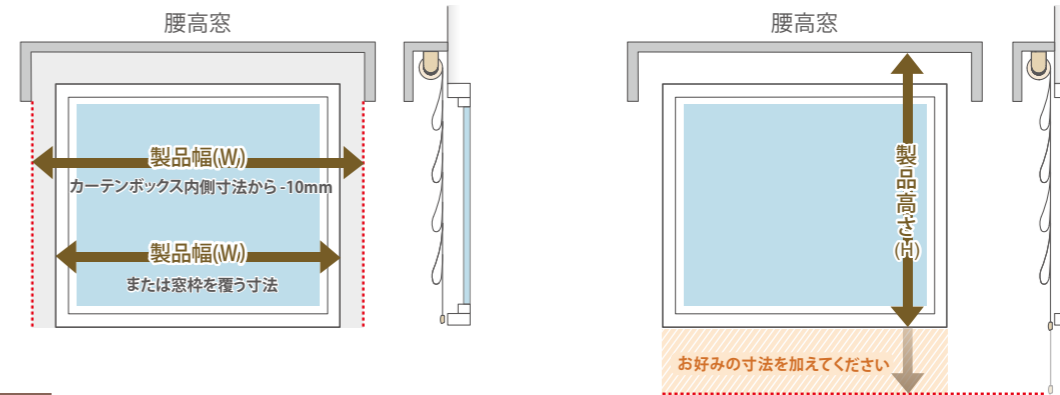
※スクリーンを上げきった位置が窓枠の上に収まる想定です



ご注文高さ = $A+B+C+D$
 ※ A=巻き代≒133mm
 巻き代は操作タイプ、フレイルスクリーン生地の種類などにより変わります。最大寸法133mmになります。
 ※あくまで目安となります。ご了承ください。

- ① 下地を確認する
- ② オーダーサイズを算出
- ③ 製品量代算出し、取り付け位置を決める

6-4 カーテンボックス付け



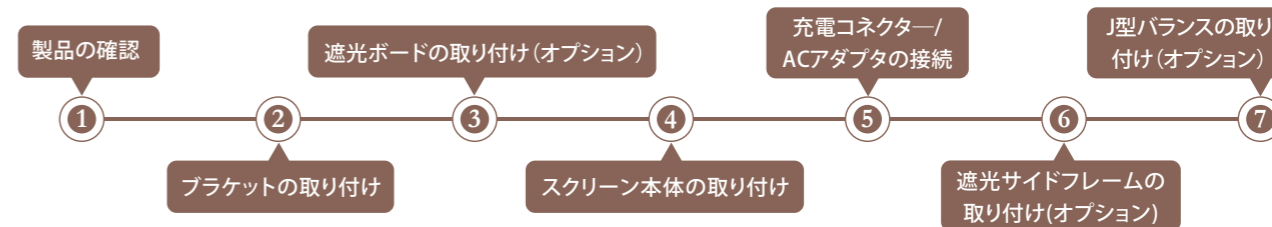
- 製品幅** 製品幅カーテンボックス内側寸法から測定
- カーテンボックス内側寸法から10mm程度を引いてください。または、窓枠を覆う寸法を測ってください。
- 製品高さ** 取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定
- 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

07 取り付け方法

ご注意ください ④ ブラケット取り付け時は必ず以下項目を確認したうえで本体の設置を行ってください。

ブラケット取り付け後確認項目	正しい	間違い
すべてのブラケットが一直線に設置されていること	<p>俯瞰図</p>	<p>ブラケットが一直線に揃っていない</p>
	<p>正面図</p>	<p>ブラケットが一直線に揃っていない</p>
ビスがブラケットに対して垂直に取り付けられていること	<p>側面図</p>	<p>ビスが斜め締めになってしまい、ビス頭がしっかりとブラケットに密着していない</p>

■ 取り付けの手順 ※ オプション選択のない場合、次のステップにお進みください。



7-1 製品の確認

- 内容物にキズがつかないように開梱し、下記部品が揃っていることをご確認ください。
 - ・スクリーン本体 ・付属品ボックス ・取り扱い説明書 ・保証書
 - ・オプションアイテム(※) ・オプション付属品(※) ※オプションを選択した場合のみ
- 取り扱い説明書に従い、付属品ボックス内のパーツ数量を確認します。

仕様と構造
オプション
取り付けタイプ
取り付け条件
必要寸法一覧
採寸方法
取り付け方法
操作方法
サイズ定義と公差
製品特性
保証について

仕様と構造
オプション
取り付けタイプ
取り付け条件
必要寸法一覧
採寸方法
取り付け方法
操作方法
サイズ定義と公差
製品特性
保証について

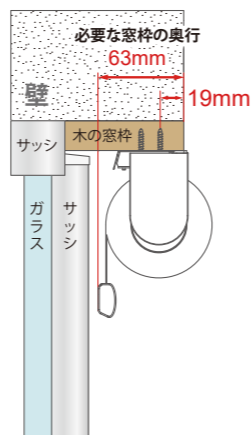
7-2 ブラケットの取り付け

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ブラケットをヘッドレールの両端部から約51~100mm内側に両面テープで仮止めしてください。各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間とのブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

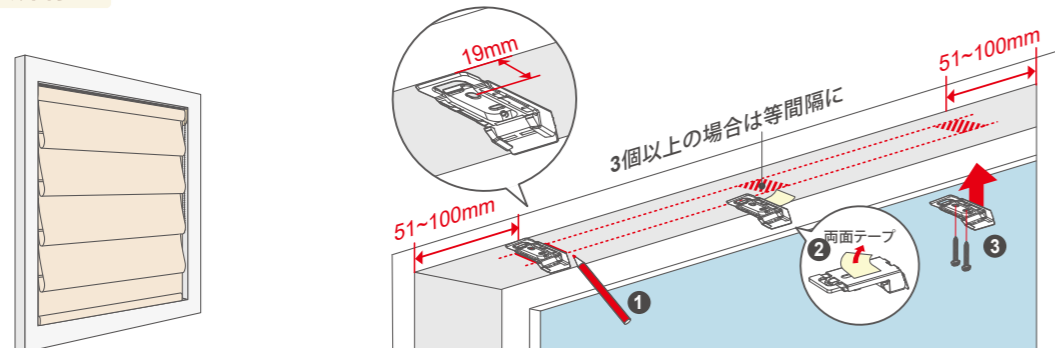
ご注意ください

- ① 窓枠内の収まりについては仕様書のP16の必要寸法と規定ヘッドレール位置をご確認ください。
- ② 設置場所が最低奥行き寸法の場合、右図に従って、指定寸法を確認しネジを固定してください。

【重要】 ブラケットを設置後にご確認ください。ブラケットを取り付け後に、まずブラケットの透明のプラスチックを押し、手を放した際に、プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してから、製品を取り付けてください。もしプラスチック部品が反発しない場合、製品が落下する可能性があります。ご注意ください。その際は、ネジを1回転ほど緩めて、もう一度プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してください。それでもプラスチック部品が反発しない場合、交換の必要があります。

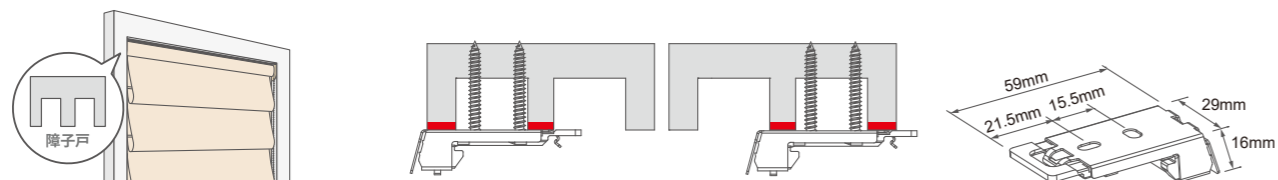


窓枠天井付け



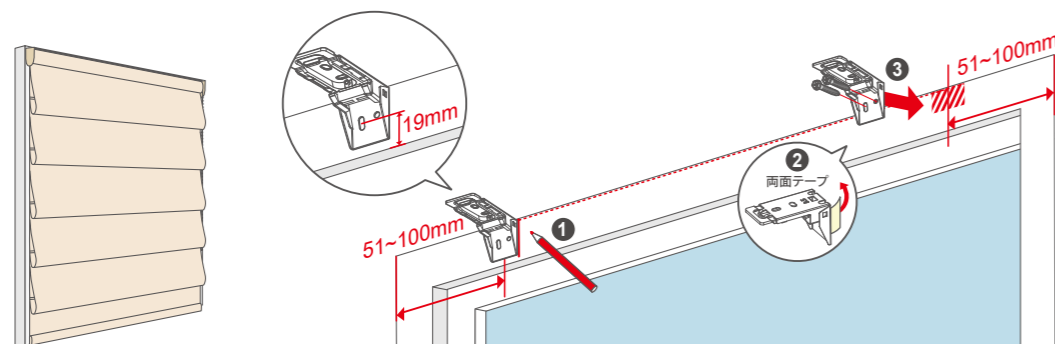
※ ブラケットの設置ネジ穴は、窓枠前面からネジ穴まで19mm以上の間隔が必要です。

鴨居付け

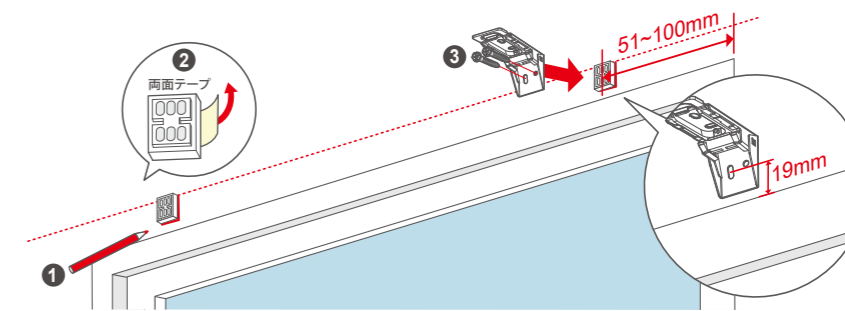
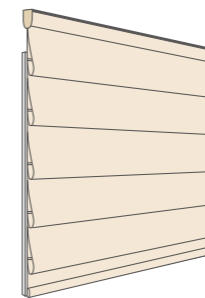


- ① ブラケットが2点の平面に接することを確認し、ネジを凹み箇所へ差し込み固定してください。
 - ② ブラケットを3個以上使用する場合は、中間とのブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。
- ※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的に問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

窓枠正面付け

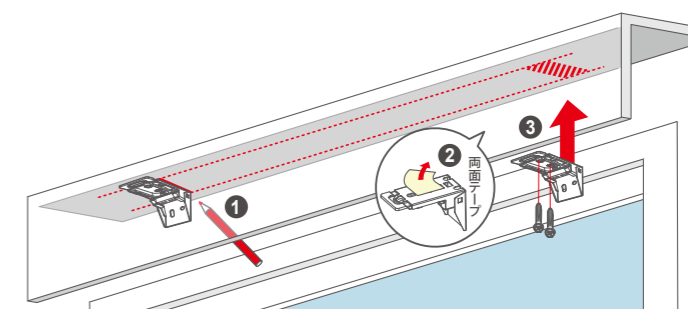
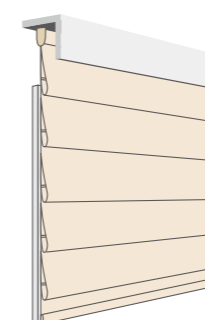


壁面付け



- ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所へブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。ブラケットを左右平行(水平)に、採寸された高さと同じ高さの位置に取り付けてください。
- また、図のようにネジ穴から窓枠端まで19mm以上の間隔を推奨します。

カーテンボックス付け

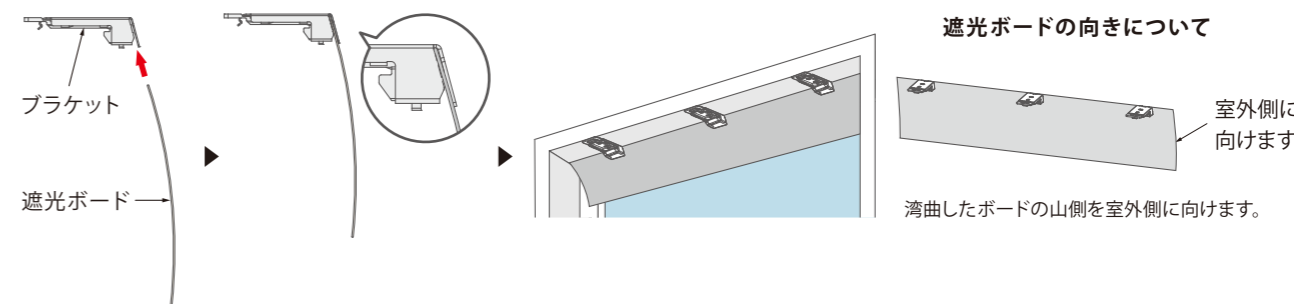


- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ヘッドレールの両端部から約51~100mm内側に位置を決め、各ブラケットが左右平行(水平)になるよう仮止め中のネジをしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間とのブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

7-3 遮光ボードの取り付け・取り外し ※ 窓枠天井付け・鴨居付けオプション:遮光ボード無しの場合は省略

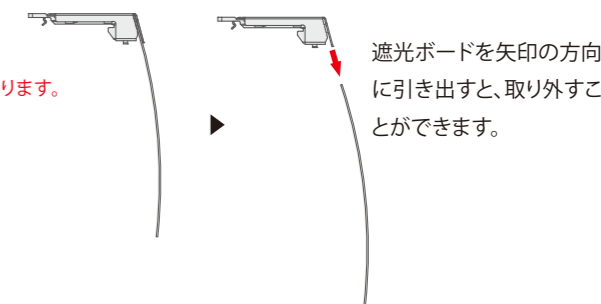
遮光ボードの取り付け

- 遮光ボードを下部から上部のブラケット後ろの溝に差し込みます。



遮光ボードの取り外し

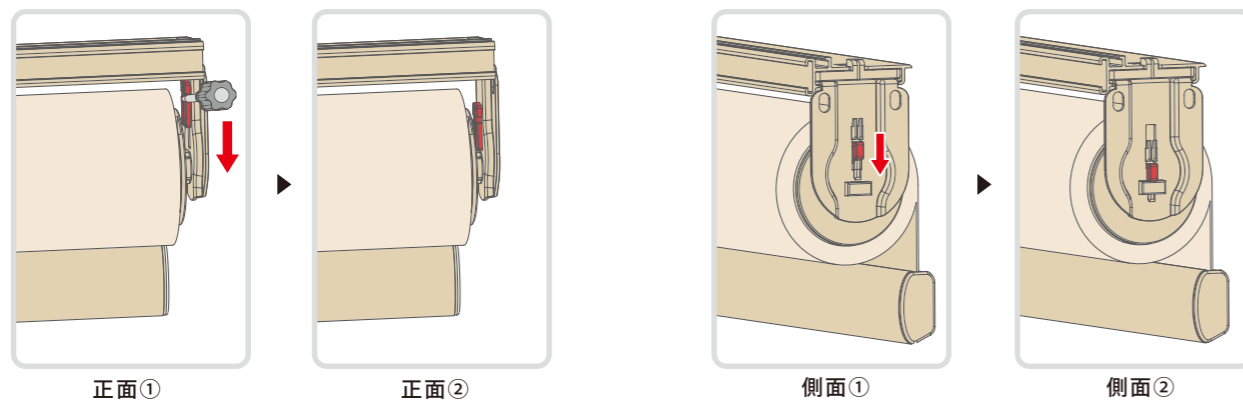
- ブラケットから遮光ボードを取り外します。
- ※ ブラケットの返しツメにより、取り外す時には遮光ボードにキズがつくことがあります。



7-4 スクリーン本体の取り付け・取り外し

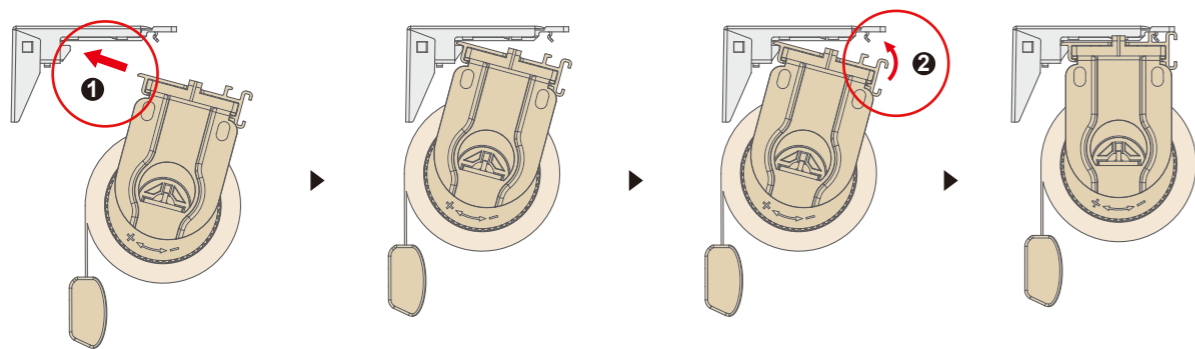
7-4-1 スクリーン本体の取り付け

- 図の通り、マイナスドライバーなどで矢印の方向にツマミを下ろしロック状態にします。



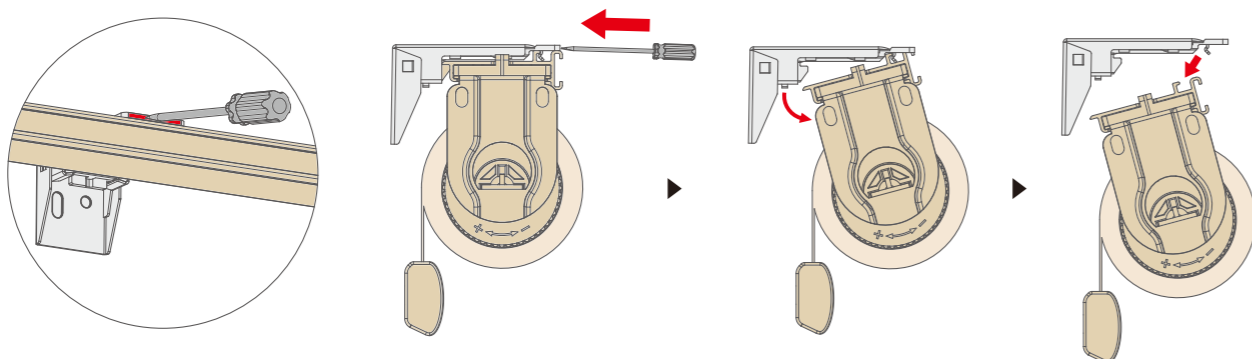
- スクリーン本体を、下記の手順でブラケットに固定します。

- ① ヘッドレール後部突起部分をブラケット奥の樹脂部分に差し込みます。
- ② その後、ヘッドレール前部はめ込み部分をブラケットの先端のツメに押し込みしっかりと固定します。



7-4-2 スクリーン本体の取り外し

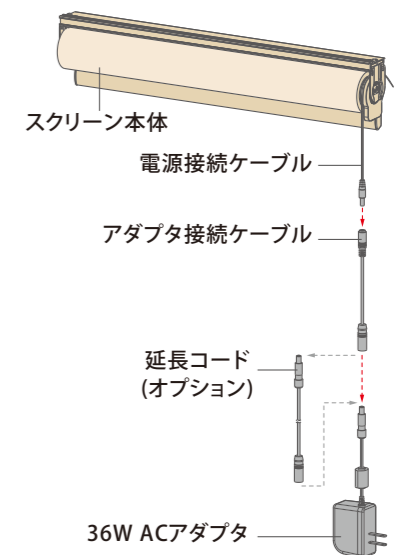
- マイナスドライバーなどの工具を使い、ブラケットの樹脂部分を奥に押し込み、ブラケットからヘッドレールのロックをはずします。



7-5 スクリーン本体ACアダプタ式のみ

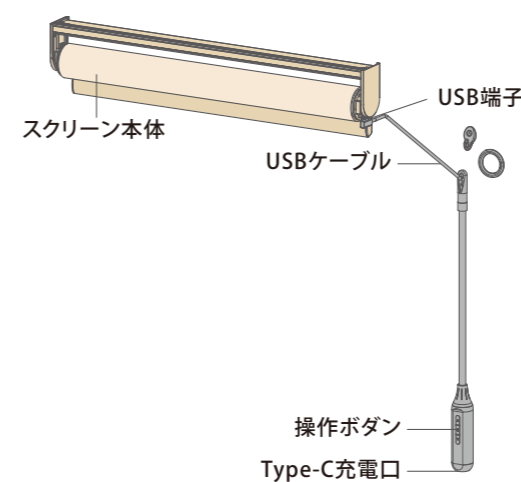
- 36W ACアダプタを本体に接続するクリーンに電源を入れる

- (1) 36W ACアダプタをアダプタ接続ケーブルに接続します。
- (2) アダプタ接続ケーブルを本体の電源接続ケーブルに接続します。
※接続された状態で出荷されます
★ 延長コードの接続が必要な場合は、アダプタを先に延長コードに接続したのち、アダプタ接続ケーブル、電源接続ケーブルの順につなげます。
- (3) アダプタを電源に差し込みます。自動で指示灯が緑色に点滅し、スクリーンに電源が入った状態になります。

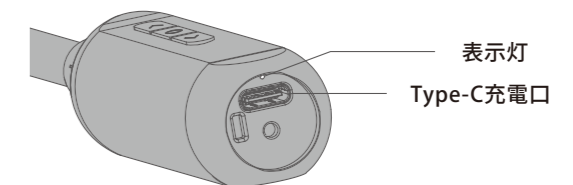


7-6 スクリーン本体e-スティックのみ

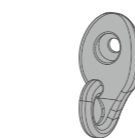
- USBケーブルを本体に接続するとスクリーンに電源が入った状態になります。



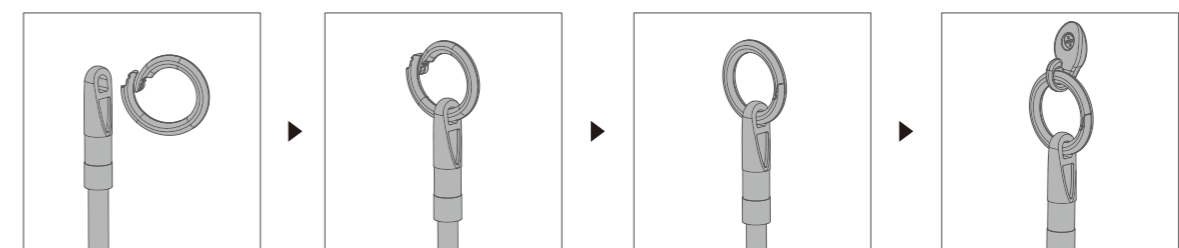
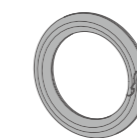
- e-スティックの底面



- 壁掛けフック
壁にビスで壁掛けフックを固定します。



- e-スティック用リング
e-スティックの一番上の穴に e-スティック用リングを差し込み、壁掛けフックに掛けて使用します。

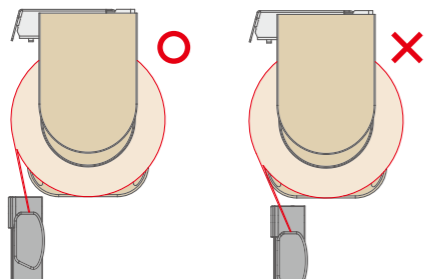
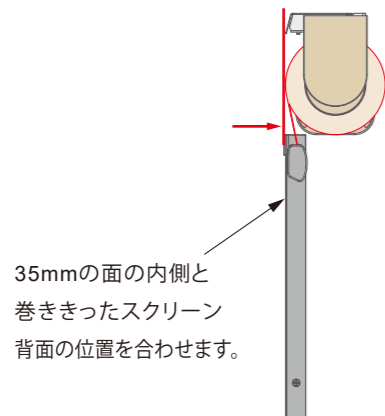
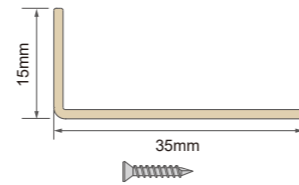


- 充電方法

- e-スティックにType-C充電ケーブルに接続し、Type-Cアダプターをコンセントに差し込みます。
※Type-Cアダプターは本製品には付属されておりません。

7-7 遮光サイドフレームの取り付け ※窓枠天井付け・鴨居付けオプション:遮光サイドフレーム無しの場合は省略

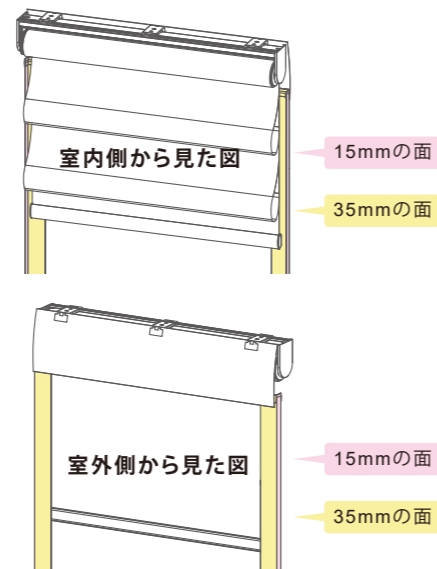
- 必ずスクリーン本体と遮光ボードの取り付け後に、遮光サイドフレームの取り付けをしてください。
- 遮光サイドフレームはスクリーン裏(室外側)に左右1本ずつ取り付けます。
 - ① 取り付けの前に、設置位置を確認し鉛筆でマークします。
 - ② 35mmの面の内側と巻ききったスクリーン背面の位置を合わせます。
 - ※ 巻き上がったスクリーンの位置は巻き代により変動します。



注意 サイドフレームを設置する際、35mmの面が巻き取りパイプに近づけすぎないようにご注意ください。生地背面と遮光サイドフレームが干渉してしまう恐れがあり、生地に干渉してしまうと、破れや操作不良の原因となることがあります。

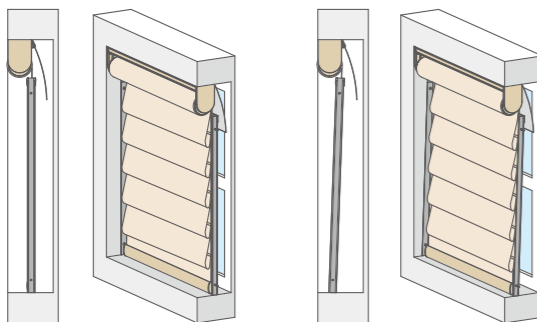
- 位置が決まったら、両面テープの剥離紙を取り、遮光サイドフレームを取り付けます。
- 落下防止のため、遮光サイドフレームにネジ穴が上下各1箇所あります。付属のネジでしっかりと締めてください。

■ 設置完了イメージ



注意 サイドフレームは両面テープで取り付けのため、取り外しの際に壁紙を破損する可能性があります。あらかじめご了承ください。

注意 ネジは設置面に対し垂直に締めてください。ネジが斜めに固定されるとネジ頭が枠内に突出し、生地の昇降を妨げ、製品が破損する恐れがあります。



垂直設置

傾斜設置

遮光効果を高めるために、上図のように少し傾けて取り付けることも可能です。

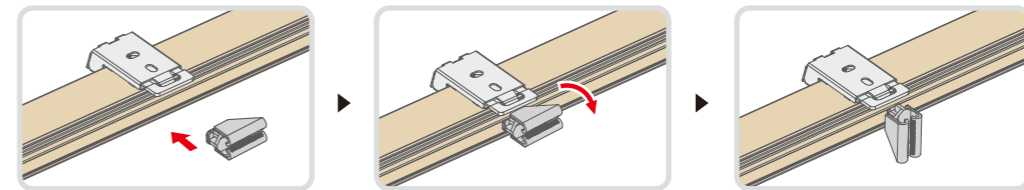
7-8 バランスの取り付け・取り外し ※オプション:バランス無しの場合は省略

バランスの取り付け手順

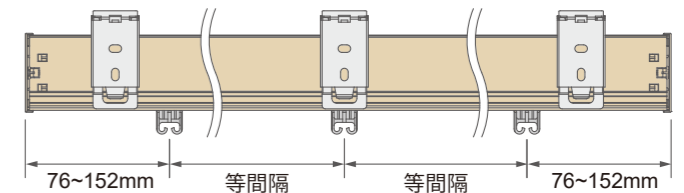
本体を取り付け後、問題なく操作できることを確認後、バランスを取り付けます。

① バランス固定ハンガーを取り付け

バランス固定ハンガーを水平にし、ヘッドレールの溝に入れ、垂直方向に回してください。

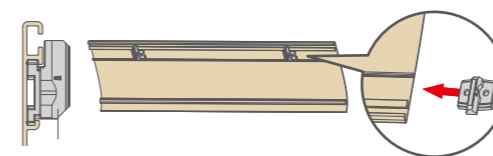


バランス固定ハンガーの設置位置は図のように両端から76~152mm、中間のハンガーは両端と等間隔になるようにしてください。



② ハンガー固定ベースの取り付け

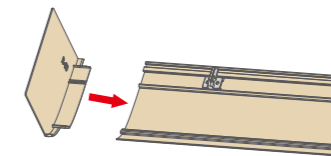
ハンガー固定ベースをバランス裏面のレールにスライドします。



ハンガー固定ベースの突出部分を上向きにしてください。

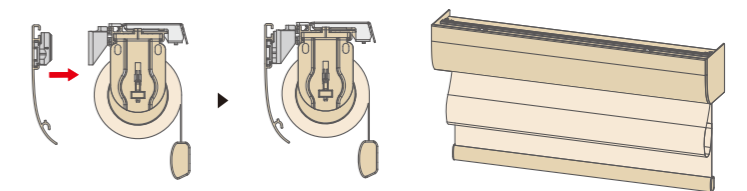
③ バランスキャップの取り付け

バランスキャップを下図の通り、溝に合わせて差し込みます。



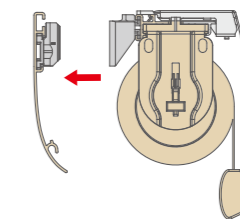
④ バランスとヘッドレールの取り付け

ハンガー固定ベースをスライドさせ、バランス固定ハンガーと合わせてから水平に押し込みます。また、Jバランスの高さを調整する際にハンガー固定ベースがバランス固定ハンガーを付けたまま上下の調整ができます。

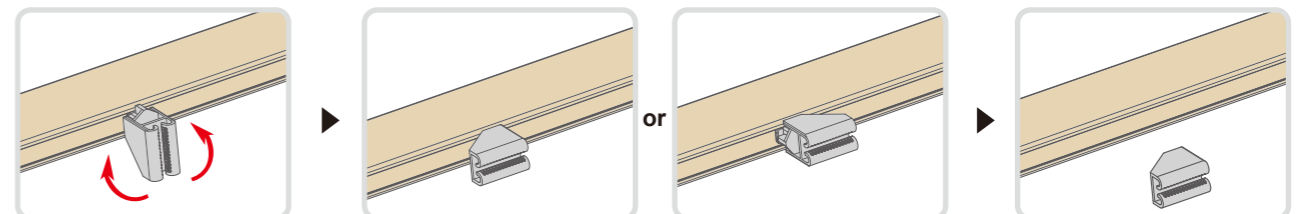


バランスの取り外し

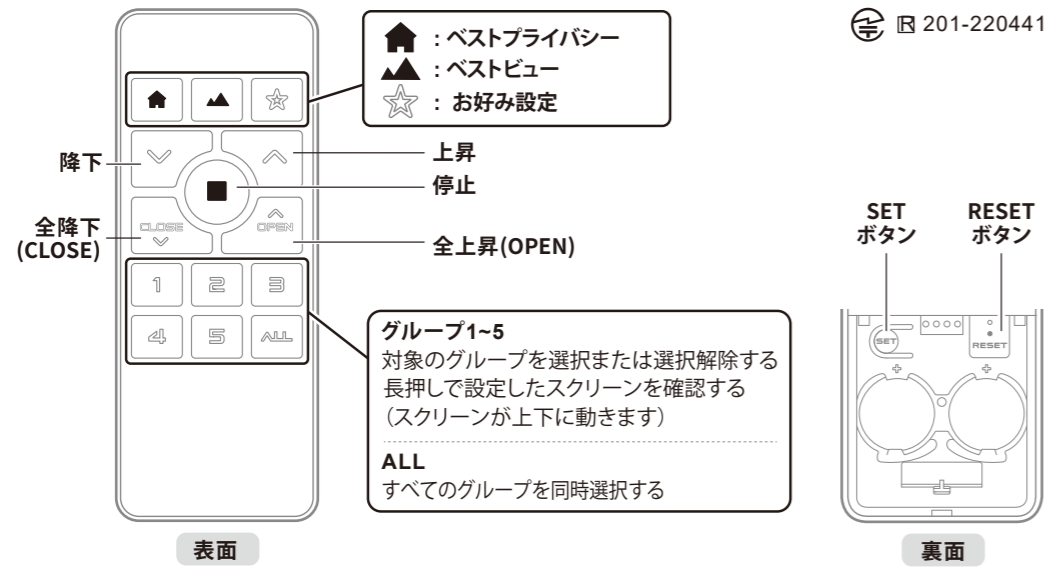
- バランスを水平に外に取り出します。このとき、ハンガー固定ベースも一緒に取り外してください。



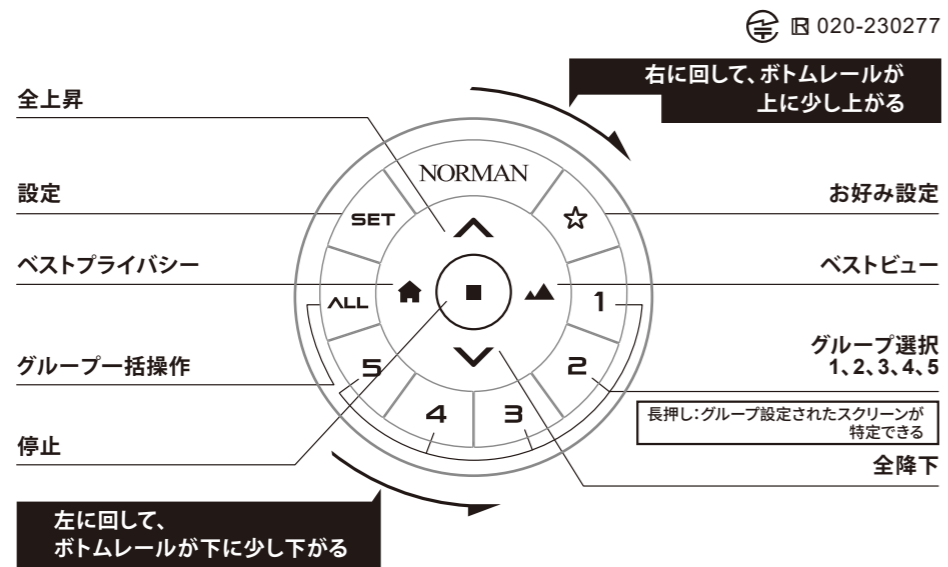
- バランス固定ハンガーを外す場合、まずはスクリーン本体を取り外します。固定ハンガーを水平にしてから、横方向にスライドさせ、ヘッドレールの端から取り出します。



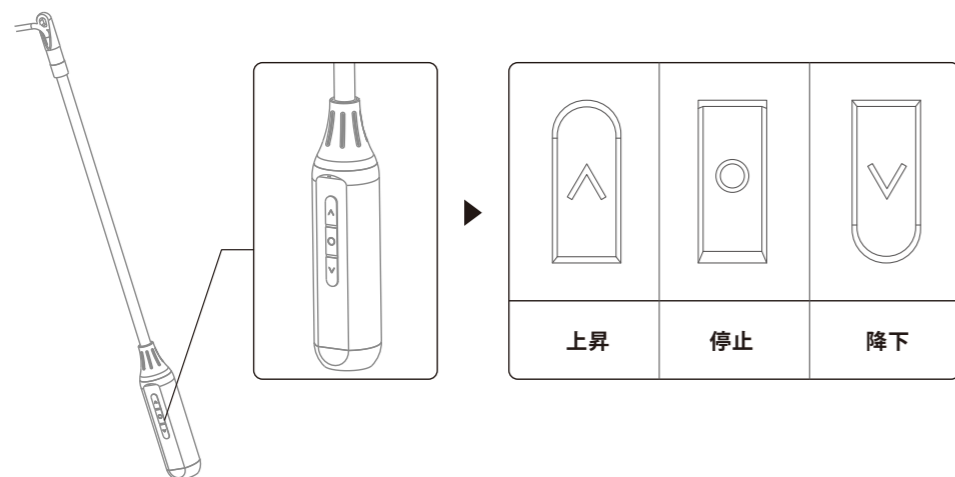
8-1 リモコン(RC-A01)ボタン紹介



8-2 SmartDial™ G2ボタン紹介



8-3 e-スティックボタン紹介



8-4 ボタン機能紹介

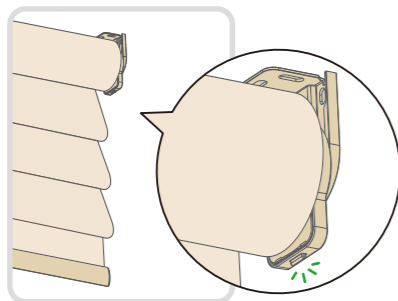
リモコン(RC-A01)	SmartDial™ G2	e-スティック	ボタン機能	紹介
		-	ベストプライバシー	 ボトムレールが一番下まで下がります
		-	ベストビュー	 ボトムレールが一番上まで上がります
		-	お好み設定 (初期設定位置)	 初期設定位置: ボトムレールが高さ半分の位置まで昇降します
		-	降下	 ボトムレールが下に少し下がります
		-	上昇	 ボトムレールが上に少し上がります
			全降下 (Close)	 ボトムレールが一番下まで下がります
			全上昇 (OPEN)	 ボトムレールが一番上まで上がります
			停止	昇降を停止します
		-	グループ 1~5	操作したいグループを選択します 長押し: グループ設定されたスクリーンが上下に動きお知らせします
		-	ALL	すべてのグループを同時選択する

* ご自身で設定変更できます。リモコンの説明書をご参照ください。

仕様と構造
オプション
取り付けタイプ
取り付け条件
必要寸法一覧
探寸方法
取り付け方法
操作方法
サイズ定義と公差
製品特性
保証について

仕様と構造
オプション
取り付けタイプ
取り付け条件
必要寸法一覧
探寸方法
取り付け方法
操作方法
サイズ定義と公差
製品特性
保証について

8-5 手動スイッチ機能説明



本体ACアダプタ式

サイドキャップに設置されている手動スイッチは、リモコンの電池切れや緊急時の際にスクリーンを操作することができます。

静止中に押す：スクリーンが昇降を行います

昇降中に押す：スクリーンが停止します。

また、電源スイッチとしてスクリーンの電源を入れる・切ることができます。

スクリーンの電源を入れる：スイッチを3秒長押し、表示灯が4回緑色に点滅します。電源が入ります。

スクリーンの電源を切る：スイッチを3秒長押し、表示灯が4回赤色に点滅します。電源が切れます。

8-6 リモコンホルダー ※各状況に合わせてお選びください。

■ビス固定の場合：(木下地適用)

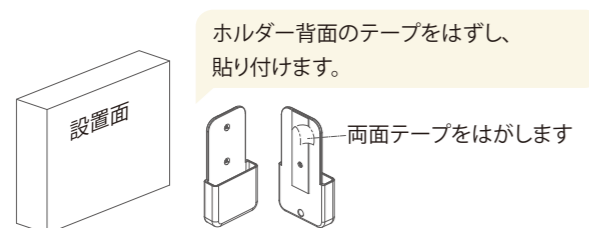
1. 設置箇所の穴をあわせませ。先にキリで穴をあけ、ビスを当てやすくします。
2. 付属のビスをしめます。
3. ホルダーが固定されたら完成です。



※石膏ボードは別途アンカーをご用意ください

■両面テープ固定の場合：(滑らかな平面に適しています)

1. 設置箇所をきれいにします。
2. 背面のテープをはがします。
3. ホルダーをしっかり押し当て貼り付けます。
4. ホルダーが固定されたら完成です。

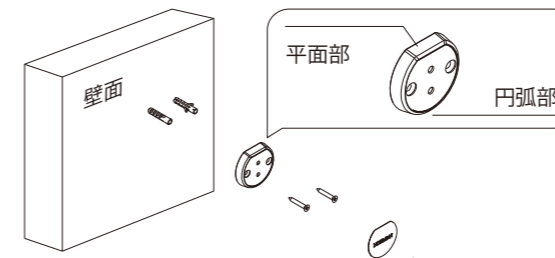


8-7 SmartDial™ G2の壁面設置

※ビス(木ネジ)固定、または両面テープでの固定が可能です。設置環境にあった方法をお選びください。

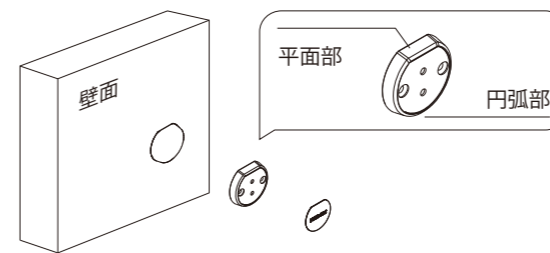
■ビス固定の場合：(木下地適用)

1. ビスを打ち込む2か所に穴を開け、まずアンカーを装着します。
2. マグネットに貼付されているシール剥離紙をとり、ホルダー内側に貼付固定します。
3. ホルダーを、ビスでアンカー部分に固定します。
4. 仕上げに、NORMAN® ロゴシールを貼り、設置完了です。
5. SmartDial™ G2裏面の窪みにホルダーが重なり、磁力で吸着固定されます。



■両面テープ固定の場合：(滑らかな平面に適しています)

1. マグネットに貼付されているシール剥離紙をとり、ホルダー内側に貼付固定します。
2. ホルダー用両面テープをとり、ホルダー裏面に貼り付けてください。
3. NORMAN® ロゴシールをホルダー表面に貼り、ホルダーを裏面の両面テープ剥離紙を取り、お好みの壁面に貼り付けて設置完了です。
4. SmartDial™ G2裏面の窪みにホルダーが重なり、磁力で吸着固定されます。



あれっ?て思ったとき

こんなとき(症状)	考えられる原因	こうする(処置)
スクリーンが操作できない	スクリーンが電波を受信していない	リモコンでスクリーンを操作して、スクリーンの表示灯を確認してください。 緑色に点滅：スクリーン受信状況は正常です 赤色に点滅：低電力/スクリーン温度異常 赤緑色に点滅：その他の異常 表示灯が光らない：電波を受信していない/グループ設定ができていない/電源が入っていない
	リモコンのバッテリー残量不足	グループボタンが正常に光ることをご確認ください。 または、電池を交換してください。
	グループ設定を行っていない	リモコンのグループボタンで設定を行ったグループのボタンを長押ししてください。正常に設定されているスクリーンが、上下動してお知らせします。未設定の場合は、リモコンの取扱説明書の手順に従って設定を行ってください。
	スクリーン温度異常(温度が高い/温度が低い)	スクリーン操作時に赤色に点滅した場合、スクリーンの温度異常の可能性があります。30分ほど経過して、製品規格に記載の適切な操作温度範囲のもと操作を行ってください。
	スクリーンの限界位置未設定	リモコンのベストビュー(山の表示)/ベストプライバシー(家の表示)ボタンを押して、スクリーン表示灯が緑色に点滅、正常に動作するか確認をしてください。スクリーンが動かない場合、限界位置が未設定の可能性があります。リモコンの取扱説明書の手順に従ってスクリーンの限界位置を設定してください。 ※スクリーンはすべての限界位置を設定完了後、すべての機能が使用できます
スクリーンの自動停止位置が変わった(限界位置のずれ)	その他の異常	再起動：手動スイッチを3秒長押しで電源の入れる/切るを行います。電源を切る場合は、表示灯が赤く点滅します。電源を入れる場合は緑色に点滅します。再起動でも異常の復旧ができない場合は次項の“本体強制再起動”を試してください。 本体強制再起動：手動スイッチを10秒長押ししてください。表示灯が赤色に点灯したらスイッチを離してください。本体が強制再起動します。以上の各対応方法で解決できない場合はお問合せください。
	急な電源の切断	急な電源の切断により、上下限界位置がずれる場合があります。リモコンの取扱説明書の手順に従って再度上下限界位置の設定を行ってください。
	その他の異常	お問合せください。

使用上のご注意

- ▶ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
 - △警告 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷につながる内容を示しています。
 - △注意 製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
 - △危険 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
- ▶ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。
 - ⊘ 製品の取り扱いにおいて、その行為を「禁止」する内容です。
 - ⓪ 製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する内容です。

製品全体

- ⊘ ▶ 動作環境

本製品は動作環境が0℃～40℃の範囲内でご使用・充電をしてください。範囲外で使用・充電を行うと、バッテリーからの液漏れ、熱によるバッテリー損壊・性能低下等の恐れがあります。
- ⊘ ▶ 感電の危険性や損壊の恐れがあります
 - ・スクリーン本体の電源接続端子(金属部分)に触れること
 - ・濡れた手で製品を操作すること
 - ・液体や火気の付近に近づけること
- ⊘ ▶ 分解行為

付属アクセサリの分解、部品交換、改造などをご自身で行わないでください。故障の場合は速やかに販売店にお問合せください。販売店またはメーカーの指示によらない誤った使用方法は製品保証対象外となることもあり、保証期間内でも保証を受けられません。

⚠ 注意

- ⓪ ▶ 充電方法

ご使用前に必ず本書をお読みにになり、正しい方法で充電を行ってください。
- ⓪ ▶ 初回使用時

初回使用時、異臭・発熱・サビ等が見られた場合、すぐに使用をやめ、販売店へご連絡ください。
- ⊘ ▶ 可燃物付近での使用

可燃物の近くで使用・充電を行わないでください。発火により火災の恐れがあります。
- ⓪ ▶ 露出されたリード線や金属端子部の取り扱い

断線等でリード線や金属端子部分が露出した場合、危険ですので電気絶縁用ビニールテープなどで一時的に絶縁処理を行ってください。
感電やショートにより発熱、破裂、発煙、発火の原因となります。
- ⓪ ▶ 廃棄方法

ご不要になった場合、各自治体の指示に従って処分してください。

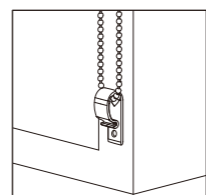
幅					
取り付けタイプ		オーダー幅	仕上がり幅		公差
窓枠天井付け 鴨居付け	枠内実寸で発注	W	W-3mm	バランスなしの場合： サイドキャップの左端から右端まで バランスありの場合： バランスキャップの左端から右端まで	
	製品実寸で発注	W	W		
窓枠正面付け		W	W		
壁面付け		W	W		
カーテンボックス付け		W	W		
高さ					
取り付けタイプ		オーダー高	仕上がり高		公差
窓枠天井付け 鴨居付け	枠内実寸で発注	H	H	ブラケット上端部からボトムレール最下部まで	
	製品実寸で発注	H	H		
窓枠正面付け		H	H		
壁面付け		H	H		
カーテンボックス付け		H	H		

10 製品特性

外観変化、特殊環境における状態変化について、下記項目を予めご了承ください。

- 製品の色味は製造ロットにより多少の差異が発生することがあります。そのため、同色複数の製品をご検討の場合は、一度のご注文ですべての設置予定製品をご購入することをお勧めします。通常、製品は長年の使用による、正常な経年変色が発生します。この場合、追加で同じ色の製品をご購入されても、元々ご使用されていた製品との色味の差が発生する可能性があります。あらかじめご了承ください。

- チェーンタイプは、操作チェーンが外部に露出した状態であるため、お子様やペットに巻き付いて思わぬ事故につながる恐れがございます。必ず操作チェーンは使用后、余ってる部分を付属のチェーンクリップに確実に固定し、お子様やペットの届かないところに置いてください。



必ずチェーンクリップを使用し固定をしてください。



操作チェーンをお子様やペットの届かないところに固定してください。

- 幅の大きい製品、高さのある製品は経年使用にともない、軽微なフレアやV形状の紋様が発生することがあります。これは一般の使用状況のもと発生しうる現象となります。



■ 生地開口率

開口率とは日差しを遮る生地の織り目の縦横繊維の緊密程度を表します。開口率が小さくなるにつれて、縦横の繊維の編み合わせがより密になり、生地を透過する日差しの量が少なくなり、可視性が低くなりますが遮光性は高くなります。開口率が高くなるにつれて、生地を透過する日差しの量が多くなり、可視性が高く、より陽の光を取り入れ易くなります。ただし、遮光性は低くなります。違うパターンや模様生地の織の角度の具合により、生地の遮光性が変わってきます。それにより、単純に開口率をもって完全に遮光性や遮熱性を判断することは難しいため、一般的には同じ色味、同じ径の糸、同じパターンの生地を基に、開口率がより小さいほうが遮光性が高く、遮蔽性をコントロールしやすくなります。



■ 生地のほつれ

一部のフルイールスクリーンは、スクリーンが巻きずれたり、サイドキャップや操作部との間での摩擦、また生地の素材特性上、ほつれが発生することがあります。その場合、ハサミでほつれを切ってお使いください。



■ 巻きずれ

フルイールスクリーンの操作時に、スクリーン（生地）を左右均等に巻き取れなかったり、スクリーンが水平に設置されていない場合、巻きずれが発生しやすくなります。巻きずれは、生地とサイドキャップや操作部との間に摩擦が起こり、生地のほつれや破損の原因となります。巻きずれが起きた場合、スクリーンを一度下げきり、改めて巻き上げる、もしくはスクリーンを水平に設置することで解消できます。



11 保証について

製品保証

この度は弊社製品をご検討いただき、誠にありがとうございます。当製品は厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合は無償で修理をさせていただきます。

保証期間：お買い上げ日より3年間

保証に関する詳細やご使用中に不具合を感じた際は、公式サイト「故障かなと思ったら」ページをご参照ください。

